第66番 雲辺寺
●徳島県三好市池田町白地ノ口ウチ763-2
☎0883-74-0066
●宿坊／なし

第67番 大興寺
●香川県三豊市山本町辻4209
☎0875-63-2341
●宿坊／なし

沿線の見どころ

雲辺寺ロープウェイ

全長2594m、高低差は657m、雲辺寺のある山頂と香川県側の麓を約7分で結ぶ。定員101名のスイス製ゴンドラからは、三豊平野や瀬戸内海、晴れた日には岡山も望める。シーズンには山桜やツツジ、モミジが楽しめる。お遍路さんだけでなく、冬季営業のスキー場を訪れる客にも欠かせない足だ。

所 香川県観音寺市大野原町丸井1974-57
☎ 0875-54-4968
営 7:20～17:00（12～2月は8:00～）
休 無休
料 大人往復2,060円

沿線の見どころ

豊稔池堰堤

中世ヨーロッパの古城を思わせる、堤長145.5m、堤高30mの巨大なアーチダム。日本に2基のみ存在するマルチプル（多連式）アーチダム形式のうちのひとつで、5連の石積み形式は国内唯一。平成18年には国の重要文化財として登録された。毎年7月中旬から下旬に行われる「ゆるぬき」（放流）の風景は、讃岐の初夏の風物詩として知られている。

所 香川県観音寺市大野原町田野々
☎ 0875-54-2035（豊稔池土地改良区）
営 見学自由

境内の見どころ

五百羅漢像

羅漢とは釈迦の弟子となり悟りを開いた高僧のこと。ロープウェイ山頂駅より境内に向かう参道には、500体にも及ぶ羅漢像が並ぶ。その表情は一体ごとに異なり、参拝客を見つめる様は迫力がある。これらは、弘法大師入唐の際、初めて上陸した福建省赤岸鎮にある五百羅漢院の像を模して作られた。

日本遺産「四国遍路」～回遊型巡礼路と独自の巡礼文化～

弘法大師空海ゆかりの札所を巡る四国遍路は、阿波・土佐・伊予・讃岐の四国を全周する全長1400キロにも及ぶ我が国を代表する壮大な回遊型巡礼路であり、札所への巡礼が1200年を超えて継承され、今なお人々により継続的に行われている。四国の険しい山道や長い石段、のどかな田園地帯、波静かな海辺や最果ての岬を「お遍路さん」が行き交う風景は、四国路の風物詩となっている。キリスト教やイスラム教などに見られる「往復型」の聖地巡礼とは異なり、国籍や宗教・宗派を超えて誰もがお遍路さんとなり、地域住民の温かい「お接待」を受けながら、供養や修行のため、救いや癒しなどを求めて弘法大師の足跡を辿る四国遍路は、自分と向き合う「心の旅」であり、世界でも類を見ない巡礼文化である。

文化庁日本遺産魅力発信推進事業／発行：四国遍路日本遺産協議会／制作：（株）エス・ピー・シー

文化庁
JAPAN HERITAGE
日本遺産

こころをつなげて四国はひとつ　四国遍路を世界遺産に

2017年3月作成

広々とした境内は見どころも多数。ゆっくりと散策したい

歩き遍路のための「四国遍路」巡礼マップ

第66番 雲辺寺 ▼ 第67番 大興寺

第66番 巨鼇山 千手院 雲辺寺
きょごうざん　せんじゅいん　うんぺんじ

「涅槃の道場」はここから始まる

歴史・全体像

香川と徳島の県境をまたぐ雲辺寺山（標高927m）の山頂にある雲辺寺は、霊場の中で最高峰に位置し、僧侶の学問修行の場として栄えたことから、別名「四国高野」とも呼ばれている。所在地は徳島県だが、讃岐「涅槃の道場」最初の霊場。この険しい山中に寺が創建されたのは延暦8年（789）、弘法大師が16歳の頃、善通寺建立の材木を求めて登山したところ、霊山の趣に惹かれ、一夜にして堂宇を建立。鎌倉時代には関所の役割も兼ねた大寺院であった。戦国時代に土佐の長宗我部元親がこの寺を訪れ、四国統一の野望を住職に打ち明けたが、土佐の国造りに専念するよう説かれた話は有名だ。

境　内

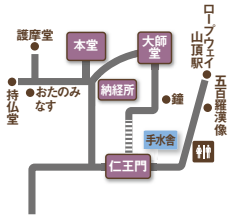
杉や檜などの古木に囲まれた広大な境内には、かつての繁栄ぶりを偲ばせる堂宇が建ち並び、山岳霊場独特の幽玄な世界を感じさせる。

本尊は平安時代、経尋作の千手観音。寺にはこの木造千手観音坐像のほか、木造毘沙門天立像、絹本著色聖衆来迎図といった国の重要文化財が安置されている（非公開）。また、新たな本堂が平成21年（2009）に完成。納経所は本堂と大師堂をつなぐ参道の間にある。

初夏には、アジサイが参道沿いに咲き誇り、参拝客の目を楽しませる。

御詠歌／はるばると雲のほとりの寺に来て月日を今は麓にぞ見る
本尊／千手観世音菩薩
真言／おん ばざら たらま きりく
宗派／真言宗御室派
開基／弘法大師

平成21年（2009）に完成した本堂



JAPAN HERITAGE
日本遺産

「四国遍路」巡礼マップ

第66番　雲辺寺 ▶ 第67番　大興寺

9.4km　※赤い点線は遍路道の一例です

《凡　例》

- 弘法大師ゆかりの寺院
- ゆかりの神社
- ゆかりの場所
- 宿泊施設
- 遍路小屋
- 休息所
- 公衆トイレ
- 医療機関
- 道の駅
- ファミリーレストラン
- 店舗・スーパー
- 温泉
- コンビニエンスストア
- コインランドリー
- 学校

67 だいこうじ 大興寺

宿 民宿おおひら

へんろみち周辺の宿泊施設

1	民宿おおひら	0875-63-2622

はぎわらじ 萩原寺

66 うんぺんじ 雲辺寺（標高 911m）

縮尺＝1：30,000

〈信号 警察署 交番 消防署 郵便局 神社 寺院〉

「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地図情報)及び数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地名情報)を使用した。(承認番号　平28情使、第1132号)」

第67番 大興寺
●香川県三豊市山本町辻4209
☎0875-63-2341
●宿坊／なし

第68番 神恵院
●香川県観音寺市八幡町1-2-7
☎0875-25-3871
●宿坊／なし

沿線の見どころ

道の駅 ことひき

琴弾公園内にある道の駅。観音寺市や香川県の物産品・土産品が購入できる。また、世界各地の珍しいコインや紙幣など約2,000点を展示した「世界のコイン館」、2016年にオープンした「太平正芳記念館」がある。観音寺市の祭りで登場する太鼓台の展示施設「観音寺市総合コミュニティセンター」や「郷土資料館」もあり、歴史や文化を学ぶことができる。

所 香川県観音寺市有明町3-37
☎ 0875・24・2150（観音寺市総合コミュニティセンター）、0875・23・0055（世界のコイン館）
営 9:00～17:00
休 月曜（世界のコイン館、郷土資料館）（祝日の場合は翌日）
料 世界のコイン館・太平正芳記念館共通入館料 大人300円、小中学生150円、郷土資料館無料

境内の見どころ

金剛力士像

仁王門で参拝客を出迎えるのは、高さが約3mある金剛力士像。四国の寺院の中では最大といわれている。寺伝によると高名な仏師であった運慶作。ただし、頭部だけは江戸時代に替えられたもの。カッと見開かれた目、阿吽の口元、たくましい腰の線など全体的に力強く、その迫力は見る者を圧倒する。

境内の見どころ

天台大師堂

本堂に向かって右手にあるのが中国の天台宗第三祖天台大師智顗（ちぎ）を祀る天台大師堂。中に納められている大師坐像は、彩色を施した檜材の寄木造りで鎌倉時代の作。頭巾をかぶり、納衣の上に袈裟をかけ、両手は腹の前で禅定印を結んでいる。天台大師の古い像は全国でも少なく、県の文化財に指定されている。

文化庁
JAPAN HERITAGE
日本遺産

日本遺産「四国遍路」～回遊型巡礼路と独自の巡礼文化～

弘法大師空海ゆかりの札所を巡る四国遍路は、阿波・土佐・伊予・讃岐の四国を全周する全長1400キロにも及ぶ我が国を代表する壮大な回遊型巡礼路であり、札所への巡礼が1200年を超えて継承され、今なお人々により継続的に行われている。四国の険しい山道や長い石段、のどかな田園地帯、波静かな海辺や最果ての岬を「お遍路さん」が行き交う風景は、四国路の風物詩となっている。キリスト教やイスラム教などに見られる「往復型」の聖地巡礼とは異なり、国籍や宗教・宗派を超えて誰もがお遍路さんとなり、地域住民の温かい「お接待」を受けながら、供養や修行のため、救いや癒しなどを求めて弘法大師の足跡を辿る四国遍路は、自分と向き合う「心の旅」であり、世界でも類を見ない巡礼文化である。

文化庁日本遺産魅力発信推進事業／発行：四国遍路日本遺産協議会／制作：（株）エス・ピー・シー

こころをつなげて四国はひとつ　四国遍路を世界遺産に

2017年3月作成

長い石段を上りきった先に開ける広々とした境内

第67番 小松尾山 不動光院 大興寺

こまつおざん　ふどうこういん　だいこうじ

二大宗派が共存した異色の寺院

歴史・全体像

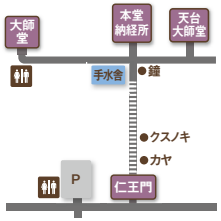
東大寺末寺として建立されたと伝えられる大興寺の歴史は古く、境内からは奈良時代のものを示す十四葉素弁の蓮華文軒瓦が出土している。後年、嵯峨天皇の勅願により弘法大師が熊野三所権現鎮護の霊場として再建した。現在は真言宗だが、本堂に向かって左側に弘法大師堂、右側に天台大師堂が並び、かつては天台と真言の二大宗派が共存する異色の寺院であった。修験者たちの道場として栄え、最盛期には真言宗24坊、天台宗12坊が境内に軒を連ねていたほど。薬師如来坐像、金剛力士像など香川県の文化財に指定されたものも多い。のどかな田園の中にあり、地元では「小松尾さん」の名で親しまれている。

境　内

寺の前の小川にかかった橋を渡り、仁王門をくぐると、樹齢1200年余りといわれるカヤとクスノキの大木が迎えてくれる。
長い石段を上りきった正面には本堂があり、その左右に二大宗派が共存していたことを示す二つの大師堂が建っている。現在の本堂は江戸時代の初期に再建されたもの。その中では何本もの赤いロウソクの火がゆらめく。これは「七日燈明」と呼ばれる秘法で、赤い大ロウソクに願いごとを書いて奉納すると、7日間ロウソクを灯し祈願してくれる。参拝できない遠方の人の奉納も多い。

御詠歌／植えおきし小松尾寺を眺むれば法の教えの風ぞ吹きぬる
本尊／薬師如来
真言／おん ころころ せんだり まとうぎ そわか
宗派／真言宗善通寺派
開基／弘法大師

七日燈明が行われる本堂



歩き遍路のための「四国遍路」巡礼マップ
第67番 大興寺 ▼ 第68番 神恵院

JAPAN HERITAGE
日本遺産

「四国遍路」巡礼マップ

第67番　大興寺 ▶ 第68番　神恵寺

8.7km　※赤い点線は遍路道の一例です

《凡　例》

- 弘法大師ゆかりの寺院
- ゆかりの神社
- ゆかりの場所
- 宿泊施設
- 遍路小屋
- 休息所
- 公衆トイレ
- 医療機関
- 道の駅
- ファミリーレストラン
- 店舗・スーパー
- 温泉
- コンビニエンスストア
- コインランドリー
- 学校

へんろみち周辺の宿泊施設の案内

1	香川県ホテル旅館生活衛生同業組合	087-851-2661
2	観音寺市観光協会	0875-24-2150

〈信号 警察署 交番 消防署 郵便局 神社 寺院〉

各札所のマップはホームページでもご覧いただけます www.seichijunrei-shikokuhenro.jp

第68番 神恵院
●香川県観音寺市八幡町1-2-7
☎0875-25-3871
●宿坊／なし

第69番 観音寺
●香川県観音寺市八幡町1-2-7
☎0875-25-3871
●宿坊／なし

沿線の見どころ

山口の井戸

琴弾公園内にある地下水。平安時代、日照りが続いて飲み水にも苦しんでいる人々を救おうと、観音寺の住職だった弘法大師が掘ったと伝えられている。昭和初期まで水源として使われていたものを整備、復元した。琴弾公園には美しい緑と朱塗りのそり橋を映す琴柱池（ことじいけ）もあり、四季折々の風景も壮観だ。

所 香川県観音寺市有明町琴弾公園内
☎ 0875・23・3933（観音寺市商工観光課）

沿線の見どころ

琴弾廻廊

外湯と内湯を合わせて8種類の風呂を備える温泉施設。広々とした野天風呂からは、有明浜を眺めることができる。内湯の古代檜漆風呂や海水を利用した潮風呂などがあり、どれも個性的。じんわりと汗をかく低温サウナの釜風呂（男女日替わり）は、岩盤浴感覚で楽しめる。旬の食材を使った料理を味わえる食事処「暈亭」も併設。

所 香川県観音寺市有明町6-6
☎ 0875・24・4567
営 10:00～23:00（札止22:00）
休 無休
料 大人650円

境内の見どころ

沓音天神（くつおとてんじん）

仁王門から境内に向かって行くと、左側にある天神様の社は、注意していないと見落としそうなほど小さい。一夜庵主であり、俳諧の祖・山崎宗鑑が尊崇していた。名前の由来は、ある夜、庵に誰かが訪ねてきたが、沓の音だけで姿形は見えず、後を追って行くと、この社で沓音が消えたという伝説から。

文化庁
JAPAN HERITAGE
日本遺産

日本遺産「四国遍路」～回遊型巡礼路と独自の巡礼文化～

弘法大師空海ゆかりの札所を巡る四国遍路は、阿波・土佐・伊予・讃岐の四国を全周する全長1400キロにも及ぶ我が国を代表する壮大な回遊型巡礼路であり、札所への巡礼が1200年を超えて継承され、今なお人々により継続的に行われている。四国の険しい山道や長い石段、のどかな田園地帯、波静かな海辺や最果ての岬を「お遍路さん」が行き交う風景は、四国路の風物詩となっている。キリスト教やイスラム教などに見られる「往復型」の聖地巡礼とは異なり、国籍や宗教・宗派を超えて誰もがお遍路さんとなり、地域住民の温かい「お接待」を受けながら、供養や修行のため、救いや癒しなどを求めて弘法大師の足跡を辿る四国遍路は、自分と向き合う「心の旅」であり、世界でも類を見ない巡礼文化である。

文化庁日本遺産魅力発信推進事業／発行：四国遍路日本遺産協議会／制作：（株）エス・ピー・シー

こころをつなげて四国はひとつ　四国遍路を世界遺産に

2017年3月作成

仁王門から階段を上ると二寺院の堂宇が並び立つ

第68番 七宝山 神恵院

しっぽうざん　じんねいん

四国霊場唯一の「一山二霊場」

歴史・全体像

大宝3年（703）、法相宗の日証上人が琴弾山で修行をしていた時、宇佐八幡大神の神託を授かり、琴を積んだ神舟を発見した。上人は舟を引き上げ、琴弾山の山頂に社殿を造ってこれを祀り、琴弾八幡宮とその神宮寺を建立した。のちに弘法大師がこの地を訪れ、神宮寺第七世住職を務めた際、琴弾八幡宮の本地仏である阿弥陀如来を描いて本尊とし、寺号を神恵院と定めた。

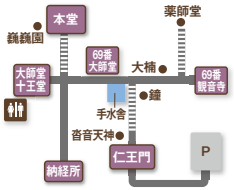
時が移り、明治時代の神仏分離令により琴弾八幡宮と神恵院は分離。神恵院は、社殿に安置されていた阿弥陀如来とともに、山の中腹にある観音寺の境内に移され、現在の形となった。

境　内

第69番札所である観音寺と境内を同じくし、四国霊場唯一の一山二霊場となっている。仁王門をくぐって左に神恵院、右に観音寺の本堂があり、納経は同じ場所で二ヶ寺分を一度に行う。平成14年（2002）に本堂を新築。一見、堂宇に見えないコンクリートの外壁に本堂への入り口がある。階段を上がり中に入ると、白木の本堂があり、現代的な素材と温もりのある木の組み合わせに驚かされる。以前本堂だった堂宇は、現在は薬師堂となっており、薬師如来像が安置されている。毎月8日には護摩祈祷が行われ、多くの参拝者が訪れる。

御詠歌／笛の音も松吹く風も琴弾くも歌うも舞うも法のこえごえ
本尊／阿弥陀如来
真言／おん あみりた ていぜい からうん
宗派／真言宗大覚寺派
開基／日証上人

階段を上ったところにあるモダンな本堂



歩き遍路のための「四国遍路」巡礼マップ

第68番 神恵院 ▼ 第69番 観音寺

JAPAN HERITAGE
日本遺産

「四国遍路」巡礼マップ

第68番　神恵院 ▶ 第69番　観音寺

0.0km　※赤い点線は遍路道の一例です

《凡　例》

- 弘法大師ゆかりの寺院
- ゆかりの神社
- ゆかりの場所
- 宿泊施設
- 遍路小屋
- 休息所
- 公衆トイレ
- 医療機関
- 道の駅
- ファミリーレストラン
- コンビニエンスストア
- 店舗・スーパー
- コインランドリー
- 温泉
- 学校

へんろみち周辺の宿泊施設の案内

1	香川県ホテル旅館生活衛生同業組合	087-851-2661
2	観音寺市観光協会	0875-24-2150

各札所のマップはホームページでもご覧いただけます www.seichijunrei-shikokuhenro.jp

第69番 観音寺
●香川県観音寺市八幡町1-2-7
☎0875-25-3871
●宿坊／なし

第70番 本山寺
●香川県三豊市豊中町本山甲1445
☎0875-62-2007
●宿坊／なし

沿線の見どころ

銭形砂絵

瀬戸内海国立公園内、琴弾公園の有明浜に描かれた巨大な砂絵。東西122m、南北90mもの大きさながら、江戸時代に領民が藩主を迎えるために一夜で造ったといわれている。「銭形を見た人は健康で長生きし、お金に苦労しない」という言い伝えがあり、琴弾山の山頂から全景を見ることができる。

境内の見どころ

釈迦涅槃像

お釈迦様が沙羅双樹の下で頭を北に向けて身を横たえている像で、臨終の姿を彫ったもの。同じ場面を描いた絵（涅槃図）は様々な寺院で見られるが、彫刻されたものは日本では数少ない。藤原時代の作とされ、国指定の重要文化財。通常は非公開だが、年に一度、2月15日の涅槃会の時のみ公開される。

境内の見どころ

十王堂と閻魔会

十王堂には閻魔大王をはじめとする地獄の審判「十王」が祀られている。閻魔会は観音寺の行事の一つで、1月16日と8月16日に十王堂で行われる先祖供養の法要。いつもはお遍路さんが目立つ境内だが、この日は近隣の人たちで賑わう。地獄の様子を描いた地獄絵図の軸画も公開され、供養の大切さを教えてくれる。

所 香川県観音寺市有明町14
☎ 0875・23・3933
（観音寺市商工観光課）

日本遺産「四国遍路」～回遊型巡礼路と独自の巡礼文化～

弘法大師空海ゆかりの札所を巡る四国遍路は、阿波・土佐・伊予・讃岐の四国を全周する全長1400キロにも及ぶ我が国を代表する壮大な回遊型巡礼路であり、札所への巡礼が1200年を超えて継承され、今なお人々により継続的に行われている。四国の険しい山道や長い石段、のどかな田園地帯、波静かな海辺や最果ての岬を「お遍路さん」が行き交う風景は、四国路の風物詩となっている。キリスト教やイスラム教などに見られる「往復型」の聖地巡礼とは異なり、国籍や宗教・宗派を超えて誰もがお遍路さんとなり、地域住民の温かい「お接待」を受けながら、供養や修行のため、救いや癒しなどを求めて弘法大師の足跡を辿る四国遍路は、自分と向き合う「心の旅」であり、世界でも類を見ない巡礼文化である。

文化庁日本遺産魅力発信推進事業／発行：四国遍路日本遺産協議会／制作：（株）エス・ピー・シー

文化庁 JAPAN HERITAGE 日本遺産

こころをつなげて四国はひとつ　四国遍路を世界遺産に

2017年3月作成

琴弾山を背景に、朱塗りの建物が映える

第69番 七宝山 観音寺

しっぽうざん　かんのんじ

朱塗りの堂が映える琴弾山麓の寺

歴史・全体像

大同2年（807）、弘法大師が琴弾八幡宮神宮寺（のちの神恵院）の第七世住職を務めていた時、寺の起源となった宇佐八幡大神の神舟は神功皇后ゆかりのものであり、観音の化身であると感得した。そこで、琴弾山の中腹に寺を建立、聖観世音菩薩像を彫って本尊とし、寺号を観音寺と定めた。寺の様式は奈良の興福寺に倣い、中金堂、東金堂、西金堂を備えた。中金堂を本堂として聖観世音菩薩を安置。西金堂には薬師如来像と十二将神像を、東金堂には弥勒菩薩を安置していた。

明治時代の神仏分離令により、観音寺の境内に神恵院が移され、現在の形となった。

境　内

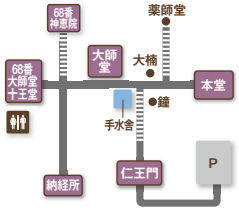
神恵院と敷地を同じくする境内は、背後に琴弾山がそびえ、立体感と奥行きがある。

仁王門から階段を上るとすぐ右側に見えるのは、本堂である中金堂。室町時代の部材を残し、江戸中期に建立されたもので、国の重要文化財に指定されている。そばには樹齢800年を超える大楠が枝を広げ、歴史の息遣いを感じさせる。

本堂の周囲には西国三十三所の三十三観音がずらりと並び、参拝者と地域の人々の平穏を見守っている。納経所は平成14年（2002）年に改修。神恵院大師堂の近くにあり、二ヶ寺分の納経を行っている。

御詠歌／観音の大悲の力強ければ
重き罪をも引き上げてたべ
本尊／聖観世音菩薩
真言／おん あろりきゃ そわか
宗派／真言宗大覚寺派
開基／日証上人

本堂は雅な室町時代の面影をたたえる



歩き遍路のための「四国遍路」巡礼マップ
第69番 観音寺 ▼ 第70番 本山寺

JAPAN HERITAGE 日本遺産

「四国遍路」巡礼マップ

第69番　観音寺 ▶ 第70番　本山寺

4.5km　※赤い点線は遍路道の一例です

へんろみち周辺の宿泊施設

1	琴弾荘	0875-23-1111
2	ワカマツヤ（若松家本館）	0875-25-4501
3	旅館晩翠	0875-25-2158
4	ビジネスホテル観音寺	0875-23-1251
5	本大ビジネスホテル	0875-24-1384
6	一富士旅館	0875-25-3310

「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地図情報)及び数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地名情報)を使用した。（承認番号　平28情使、第1132号）」

各札所のマップはホームページでもご覧いただけます www.seichijunrei-shikokuhenro.jp

第70番 本山寺
●香川県三豊市豊中町本山甲1445
☎0875-62-2007
●宿坊／なし

第71番 弥谷寺
●香川県三豊市三野町大見乙70
☎0875-72-3446
●宿坊／なし

沿線の見どころ

枯木地蔵堂

本山寺建立の大師伝説と結びついた小堂。弘法大師が祖谷山から切り出した用材を運ぶ途中、天邪鬼のイタズラによりその中の一本を落としてしまった。それを見つけた土地の人々は小堂を建て、地蔵を安置して祀るようになったという。今でも小堂の裏を覗くと、地蔵の下に古柱が祀られている。

所 香川県三豊市豊中町本山甲1835-3
☎ 0875・24・9231
（三豊市観光コンシェルジュ）

沿線の見どころ

ふれあいパークみの

弥谷寺のふもとにある道の駅。駅内にある「天然いやだに温泉大師の湯」は手ぶらで立ち寄れる手軽さが人気。毎日お湯を完全入れ替えし衛生的。広々とした浴槽でゆったりとくつろげる。プール利用の場合は、水着と水泳帽子の持参が必要。アスレチック公園も隣接しており、家族で1日遊べるスポットだ。

所 香川県三豊市三野町大見乙74
☎ 0875・72・2601
営 10:00～23:30（入浴・プール）
休 第2水曜

境内の見どころ

五重塔

寺の創建当初に弘法大師が建立。明治43年（1910）に、損傷が激しく見る影もない有様だった塔を復興。当時の住職であった盲目の頼富実毅僧正は、霊場巡りで59番国分寺を出て歩く途中、霊験を得て目が見えるようになった。その恩返しのために復興したと伝えられている。現在修復工事中（2018年まで）。

日本遺産「四国遍路」～回遊型巡礼路と独自の巡礼文化～

弘法大師空海ゆかりの札所を巡る四国遍路は、阿波・土佐・伊予・讃岐の四国を全周する全長1400キロにも及ぶ我が国を代表する壮大な回遊型巡礼路であり、札所への巡礼が1200年を超えて継承され、今なお人々により継続的に行われている。四国の険しい山道や長い石段、のどかな田園地帯、波静かな海辺や最果ての岬を「お遍路さん」が行き交う風景は、四国路の風物詩となっている。キリスト教やイスラム教などに見られる「往復型」の聖地巡礼とは異なり、国籍や宗教・宗派を超えて誰もがお遍路さんとなり、地域住民の温かい「お接待」を受けながら、供養や修行のため、救いや癒しなどを求めて弘法大師の足跡を辿る四国遍路は、自分と向き合う「心の旅」であり、世界でも類を見ない巡礼文化である。

文化庁日本遺産魅力発信推進事業／発行：四国遍路日本遺産協議会／制作：（株）エス・ピー・シー

文化庁 JAPAN HERITAGE 日本遺産

こころをつなげて四国はひとつ　四国遍路を世界遺産に

2017年3月作成

仁王門から境内全体を見渡すことができる

第70番 七宝山 持宝院 本山寺

しっぽうざん　じほういん　もとやまじ

弘法大師による「一夜建立」の寺

歴史・全体像

大同2年（807）、本山寺は平城天皇の勅願で弘法大師が一夜ほどの短い間に建てたと伝えられることから、「一夜建立」の寺として知られている。この時大師は本尊の馬頭観音、脇士の薬師如来と阿弥陀如来を一刀三礼にて刻んだ。阿弥陀如来は「太刀受けの弥陀」とも呼ばれていて、その由来は戦国時代にさかのぼる。長宗我部元親が讃岐に攻め入った時、本山寺にも軍勢が押し寄せた。当時の住職が境内に押し入ろうとする兵を押し留めたが、斬られてしまう。兵が境内に入ると、阿弥陀如来の右の肘から血が滴り落ちていた。驚いた兵が境内から退いたことで、本山寺は兵火を免れたという。

境　内

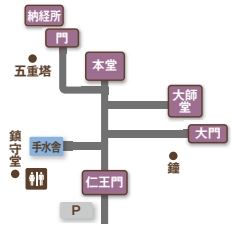
仁王門を入ると、正面にどっしりと構える本堂と五重塔が見え、その景色は壮観だ。

国宝に指定されている本堂は、寄棟造り、本瓦葺きの重厚な建物。正安2年（1300）に建てられた鎌倉時代の傑作とされている。

四国八十八ヶ所霊場で唯一の本尊、馬頭観音は、馬が盛んに草を食べるように、人間が持っている悪心や欲心、怒り、悩みをなくしてくれるという。それにちなんで、本堂右手に建つ大師堂の隣には、実物大の2頭の馬の像が立っている。

御詠歌／本山に誰か植えける花なれや春こそ手折れ手向けにぞなる
本尊／馬頭観世音菩薩
真言／おん あみりとう どはんば うん ぱった そわか
宗派／高野山真言宗
開基／弘法大師

建立当時の姿を残す本堂



歩き遍路のための「四国遍路」巡礼マップ

第70番 本山寺 ▼ 第71番 弥谷寺

JAPAN HERITAGE 日本遺産

「四国遍路」巡礼マップ

第70番　本山寺 ▶ 第71番　弥谷寺

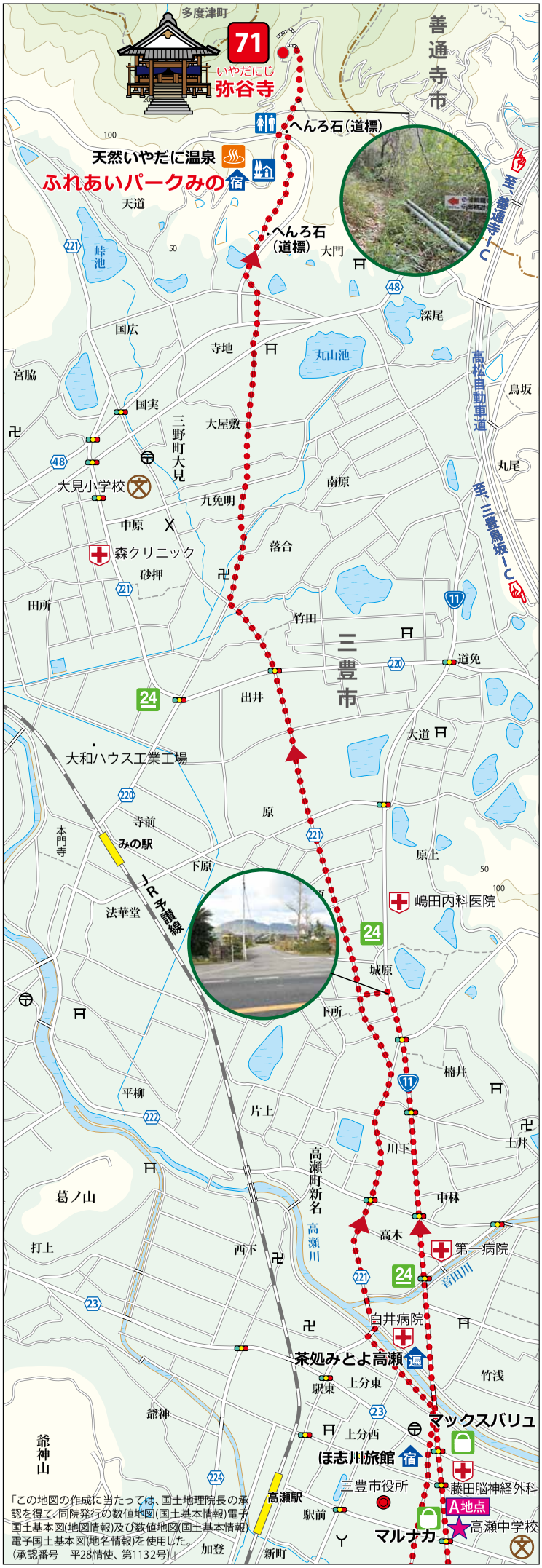
11.3km　※赤い点線は遍路道の一例です

《凡　例》

- 弘法大師ゆかりの寺院
- ゆかりの神社
- ゆかりの場所
- ファミリーレストラン
- コンビニエンスストア
- 宿泊施設
- 遍路小屋
- 休息所
- 店舗・スーパー
- コインランドリー
- 公衆トイレ
- 医療機関
- 道の駅
- 温泉
- 学校

へんろみち周辺の宿泊施設

1	ほ志川旅館	0875-72-5041
2	ふれあいパークみの	0875-72-2601



「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地図情報)及び数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地名情報)を使用した。(承認番号　平28情使、第1132号)」

各札所のマップはホームページでもご覧いただけます www.seichijunrei-shikokuhenro.jp

第71番 弥谷寺
●香川県三豊市三野町大見乙70
☎0875-72-3446
●宿坊／なし

第72番 曼荼羅寺
●香川県善通寺市吉原町1380-1
☎0877-63-0072
●宿坊／なし

沿線の見どころ

史跡曼荼羅寺道

弥谷寺と72番札所曼荼羅寺を結ぶ遍路道は曼荼羅寺道と呼ばれ、平成26年10月6日、国指定史跡讃岐遍路道に追加指定された。弥谷寺への石段を上った分岐のあたりから善通寺市碑殿町の蛇谷池の堤までの区間は、約0.9kmの山間部を通る未舗装の道で、江戸時代や明治時代の地形図などと比較してもほとんど変わらない姿を留めていることがわかる。

所 弥谷寺から曼荼羅寺までの遍路道のうち、史跡指定は三豊市三野町大見から善通寺市碑殿町蛇谷の区間
☎ 0877-63-6328（善通寺市生涯学習課）

境内の見どころ

阿弥陀三尊磨崖仏

大師堂から本堂に向かい石段を上る途中に見られる、岩壁に浮き彫りにされた磨崖仏。像高約1mにも及ぶ阿弥陀三尊で、大師が刻んだものと伝えられている。舟形光背に包まれたその表情はとても柔和だ。念仏を捧げると未来に極楽往生が約束されるともいわれており、厳かな気持ちにさせてくれる。

境内の見どころ

獅子の岩屋

大師堂の本尊の裏にある奥の院「獅子の岩屋」は、弘法大師が7歳の頃に学問に励み、再び入山した時に真言密教の修行をした場所と伝えられている。ここには、獅子が口を開いた形の岩窟があり、中には、厄除大師（四十二歳御姿）と佐伯善通卿（父君）、玉依御前（母君）など、数々の仏像が安置されている。

文化庁 JAPAN HERITAGE 日本遺産

日本遺産「四国遍路」～回遊型巡礼路と独自の巡礼文化～

弘法大師空海ゆかりの札所を巡る四国遍路は、阿波・土佐・伊予・讃岐の四国を全周する全長1400キロにも及ぶ我が国を代表する壮大な回遊型巡礼路であり、札所への巡礼が1200年を超えて継承され、今なお人々により継続的に行われている。四国の険しい山道や長い石段、のどかな田園地帯、波静かな海辺や最果ての岬を「お遍路さん」が行き交う風景は、四国路の風物詩となっている。キリスト教やイスラム教などに見られる「往復型」の聖地巡礼とは異なり、国籍や宗教・宗派を超えて誰もがお遍路さんとなり、地域住民の温かい「お接待」を受けながら、供養や修行のため、救いや癒しなどを求めて弘法大師の足跡を辿る四国遍路は、自分と向き合う「心の旅」であり、世界でも類を見ない巡礼文化である。

文化庁日本遺産魅力発信推進事業／発行：四国遍路日本遺産協議会／制作：（株）エス・ピー・シー

こころをつなげて四国はひとつ　四国遍路を世界遺産に

2017年3月作成

背後の岩壁からせり出すように建つ本堂

第71番 剣五山千手院 弥谷寺

けんござん　せんじゅいん　いやだにじ

540もの石段は遍路有数の難所

歴史・全体像

古より「仏の山」として信仰されてきた弥谷山。天然痘の流行を鎮めるため行基が堂宇を建立し、聖武天皇の勅願により「大方広仏華厳経」を奉納したのが始まりとされる。遥か八国まで見渡せたことから、蓮華院八国寺と名付けられた。後に弘法大師が7歳の時、この山を訪れ、獅子の岩屋で苦行した。大同2年（807）、再び大師が修行したところ、天より剣が5本降り、金剛蔵王権現のお告げを聞いた。大師は千手観音を刻んで安置し、伽藍を再興。その際に山号を剣五山に、寺名を弥谷寺に改めたという。戦国時代に一度焼失。現在の寺は慶長5年（1600）に再興されたものである。

境　内

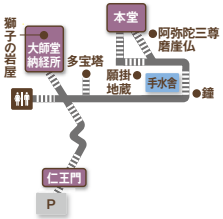
仁王門をくぐって勾配の急な石段をひたすら上る。納経所のある大師堂までは262段＋108段で、合計370段もある。

石段の脇には、地蔵尊や五輪塔があちこちに置かれている。大師堂は岩山に取り込まれたかのように建っており、そこからさらに170段上がったところに本堂が佇んでいる。こちらも大師堂と同じく、まるで岩壁を削って建っているかのようである。

途中、岩壁に阿弥陀三尊などの仏が浮き彫りにされている磨崖仏を数多く見ることができ、霊気漂う山であることをうかがわせる。

御詠歌／悪人と行き連れなんも弥谷寺ただかりそめも善き友ぞよき
本尊／千手観世音菩薩
真言／おん ばざら たらま きりく
宗派／真言宗善通寺派
開基／行基菩薩

大師堂の中に納経所と獅子の岩屋がある



歩き遍路のための「四国遍路」巡礼マップ

第71番 弥谷寺 ▼ 第72番 曼荼羅寺

JAPAN HERITAGE 日本遺産

「四国遍路」巡礼マップ

第71番　弥谷寺 ▶ 第72番　曼荼羅寺

4.1km　※赤い点線は遍路道の一例です

《凡　例》

- 弘法大師ゆかりの寺院
- ゆかりの神社
- ゆかりの場所
- 宿泊施設
- 遍路小屋
- 休息所
- 公衆トイレ
- 医療機関
- 道の駅
- ファミリーレストラン
- 店舗・スーパー
- 温泉
- コンビニエンスストア
- コインランドリー
- 学校

71 いやだにじ 弥谷寺

・へんろ石（道標）

讃岐遍路道（曼荼羅寺道）

天然いやだに温泉 ふれあいパークみの

しちぶつじ 七佛寺

72 まんだらじ 曼荼羅寺

縁信園

73 しゅっしゃかじ 出釈迦寺

西行庵

弥谷山　碑殿町　月信　善通寺市　十五丁　吉原町　吉原保育所　曼荼羅寺　高松自動車道　大池　上池　大門　西碑殿　三井之江　深尾　三豊市　丸山池　鳥坂　鳥坂峠　火上山　我拝師山

至・善通寺IC　至・三豊鳥坂IC

N

縮尺＝1:10,000　0　500m

〈信号　警察署　交番　消防署　郵便局　神社　寺院〉

へんろみち周辺の宿泊施設

1　ふれあいパークみの　0875-72-2601

「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地図情報)及び数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地名情報)を使用した。（承認番号　平28情使、第1132号）」

第72番 曼荼羅寺
●香川県善通寺市吉原町1380-1
☎0877-63-0072
●宿坊／なし

第73番 出釋迦寺
●香川県善通寺市吉原町1091
☎0877-63-0073
●宿坊／なし

沿線の見どころ

西行庵

西行は、保元の乱（1156）に敗れ讃岐に流されて憤死した崇徳上皇の霊を慰めるため、弘法大師生誕の地である讃岐を訪れ滞在していた。善通寺西方の丘陵に結んだ「西行庵」から、しばしば曼荼羅寺を訪れていたという。また、善通寺近くにも「玉泉院西行庵」を結び、そこには『山家集』に詠んだ松の切り株が残っている。

所 香川県善通寺市吉原町
☎ 0877-63-6315（善通寺市商工観光課）

沿線の見どころ

緑信園

曼荼羅寺駐車場横にあるお接待所。冬は熱い煎茶、夏は甘くて冷たいグリーンティーが無料で頂ける。高瀬町の茶葉を使用し、グリーンティーはなんと自家製。心のこもったお茶を味わえば、疲れも取れるというもの。ベンチもあり、お遍路さんにとってありがたい休憩所だ。お土産に手頃な新茶なども販売している。

所 香川県善通寺市吉原町1380-1
☎ 0877-63-2395
営 7:00～17:00（季節により変更あり）
休 無休

境内の見どころ

笠松大師

平成14年（2002）の春に松くい虫のために枯死した、樹齢1200年の老松、通称「笠松」の幹の部分を使い、香川名物の一刀彫りで作られた弘法大師の像。笠松は菅笠を二つすっぽり伏せたような形だったため、そう呼ばれていた。古くは寺号を改めた記念に、弘法大師が手植えしたという伝説が残っている。

文化庁 JAPAN HERITAGE 日本遺産

日本遺産「四国遍路」～回遊型巡礼路と独自の巡礼文化～

弘法大師空海ゆかりの札所を巡る四国遍路は、阿波・土佐・伊予・讃岐の四国を全周する全長1400キロにも及ぶ我が国を代表する壮大な回遊型巡礼路であり、札所への巡礼が1200年を超えて継承され、今なお人々により継続的に行われている。四国の険しい山道や長い石段、のどかな田園地帯、波静かな海辺や最果ての岬を「お遍路さん」が行き交う風景は、四国路の風物詩となっている。キリスト教やイスラム教などに見られる「往復型」の聖地巡礼とは異なり、国籍や宗教・宗派を超えて誰もがお遍路さんとなり、地域住民の温かい「お接待」を受けながら、供養や修行のため、救いや癒しなどを求めて弘法大師の足跡を辿る四国遍路は、自分と向き合う「心の旅」であり、世界でも類を見ない巡礼文化である。

文化庁日本遺産魅力発信推進事業／発行：四国遍路日本遺産協議会／制作：（株）エス・ピー・シー

こころをつなげて四国はひとつ　四国遍路を世界遺産に

2017年3月作成

境内では、時季になるとミカンなどの無人販売所が見られる

第72番 我拝師山 延命院 曼荼羅寺

がはいしざん　えんめいいん　まんだらじ

真言密教の根本を表す曼荼羅の寺

歴史・全体像

推古4年（596）、弘法大師の先祖である佐伯家を祀る寺として世坂寺が建立された。その後、大同2年（807）に、唐から帰国した弘法大師は母の仏果菩提を祈るためにこの寺を訪れ、青龍寺を模した伽藍を建てた。大日如来を刻んで本尊とし、さらに唐から持ち帰った金剛界と胎蔵界の曼荼羅も安置したことから、寺号を曼荼羅寺と改めたといわれる。

また、平安末期の歌人・西行法師が、讃岐に流され憤死した崇徳上皇の霊を慰めるために、弘法大師生誕の地である讃岐を訪れて滞在。しばしば境内で休んでいたという話があり、西行が詠んだ歌も残されている。

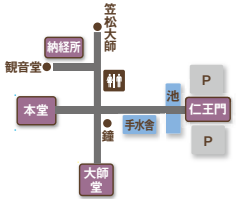
境　内

仁王門をくぐり石橋を渡ると、左には大師堂、目の前には本堂が見える。

本堂の中は、真言密教の根本となる曼荼羅の空間が広がっている。仏教の宇宙観を具現化した曼荼羅は、大日如来を中心に輪を描く仏の世界を表したもので、真ん中に大日如来が安置されている。さらに天井には、星座、法輪などが描かれた内陣と外陣の合計370枚からなる格天井が、仏の荘厳な世界を創り出している。また、駐車場の横にはお接待所の緑信園があり、香川県の茶どころ・三豊市高瀬町の香り豊かな茶葉で淹れた緑茶が無料で頂けるのがうれしい。

御詠歌／わずかにも曼荼羅おがむ人はただふたたびみたびかえらざらまし
本尊／大日如来
真言／おん　あびらうんけん　ばざらだとばん
宗派／真言宗善通寺派
開基／弘法大師

大師が学んだ曼荼羅世界が広がる本堂



歩き遍路のための「四国遍路」巡礼マップ
第72番 曼荼羅寺 ▼ 第73番 出釋迦寺

JAPAN HERITAGE 日本遺産

「四国遍路」巡礼マップ

第72番　曼荼羅寺 ▶ 第73番　出釈迦寺

0.5km　※赤い点線は遍路道の一例です

《凡　例》

- 弘法大師ゆかりの寺院
- ゆかりの神社
- ゆかりの場所
- 宿泊施設
- 遍路小屋
- 休息所
- 公衆トイレ
- 医療機関
- 道の駅
- ファミリーレストラン
- 店舗・スーパー
- 温泉
- コンビニエンスストア
- コインランドリー
- 学校

71 いやだにじ 弥谷寺

・へんろ石（道標）

天然いやだに温泉 ふれあいパークみの

讃岐遍路道（曼荼羅寺道）

碑殿町

月信

善通寺市

高松自動車道

大池

上池

しちぶつじ 七佛寺

至・善通寺IC

十五丁

吉原町

吉原保育所

曼荼羅寺

72 まんだらじ 曼荼羅寺

縁信園

三井之江

西碑殿

大門

深尾

三豊市

丸山池

鳥坂

鳥坂峠

至・三豊鳥坂IC

西行庵

73 しゅっしゃかじ 出釈迦寺

我拝師山

火上山

N

縮尺＝1:10,000　南原　500m

〈信号 警察署 交番 消防署 郵便局 神社 寺院〉

へんろみち周辺の宿泊施設

1　ふれあいパークみの　0875-72-2601

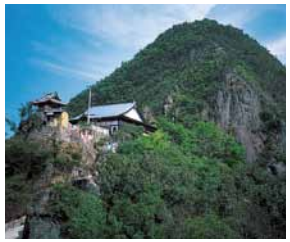
「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地図情報)及び数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地名情報)を使用した。（承認番号　平28情使、第1132号）」

各札所のマップはホームページでもご覧いただけます www.seichijunrei-shikokuhenro.jp

第73番 出釈迦寺
●香川県善通寺市吉原町1091
☎0877-63-0073
●宿坊／なし

第74番 甲山寺
●香川県善通寺市弘田町1765-1
☎0877-63-0074
●宿坊／なし

沿線の見どころ



我拝師山（がはいしさん）

標高481mの我拝師山。弘法大師が身を投げ、西行法師も歩いたといわれ、道沿いには石仏が点在している。奥の院禅定への山道は距離も長く、その斜度は相当なもの。整備されていない所もあるので、登山は体力と時間に余裕のある人におすすめ。写真は奥の院禅定から見た捨身ヶ嶽の眺め。

所 香川県善通寺市吉原町
☎ 0877-63-0073（出釈迦寺）

沿線の見どころ

柳の清水

出釈迦寺境内から捨身ヶ嶽禅定へ続く山道の途中にある湧き水。日照りでも涸れることがないとか。昔、病に倒れた堺の庄屋の娘が、お遍路さんの持っていた「柳の清水」を飲むことにより完治したという伝説がある。今でも、この水で薬を飲むと病気が治るといわれており、遠くからも水を汲みに来る人が後を絶たない。

所 香川県善通寺市吉原町
☎ 0877-63-0073（出釈迦寺）

境内の見どころ

奥之院遥拝所

我拝師山の頂上には大師が身を投げた岩場がある奥之院、捨身ヶ嶽禅定（しゃしんがたけぜんじょう）が建っている。境内から歩いて約40分もかかるため、登れない人は本堂横の階段を少し上がったところにある奥之院遥拝所を参拝する。ここで念仏を唱えれば、登ったのと同じご利益が得られるそう。

文化庁 JAPAN HERITAGE 日本遺産

日本遺産「四国遍路」～回遊型巡礼路と独自の巡礼文化～

弘法大師空海ゆかりの札所を巡る四国遍路は、阿波・土佐・伊予・讃岐の四国を全周する全長1400キロにも及ぶ我が国を代表する壮大な回遊型巡礼路であり、札所への巡礼が1200年を超えて継承され、今なお人々により継続的に行われている。四国の険しい山道や長い石段、のどかな田園地帯、波静かな海辺や最果ての岬を「お遍路さん」が行き交う風景は、四国路の風物詩となっている。キリスト教やイスラム教などに見られる「往復型」の聖地巡礼とは異なり、国籍や宗教・宗派を超えて誰もがお遍路さんとなり、地域住民の温かい「お接待」を受けながら、供養や修行のため、救いや癒しなどを求めて弘法大師の足跡を辿る四国遍路は、自分と向き合う「心の旅」であり、世界でも類を見ない巡礼文化である。

文化庁日本遺産魅力発信推進事業／発行：四国遍路日本遺産協議会／制作：（株）エス・ピー・シー

こころをつなげて四国はひとつ　四国遍路を世界遺産に

2017年3月作成

本堂、大師堂、納経所がまとまって建っている

第73番 我拝師山 求聞持院 出釋迦寺

がはいしざん　ぐもんじいん　しゅっしゃかじ

弘法大師が仏道入りを決意した寺

歴史・全体像

幼少の頃、弘法大師は八葉蓮華の中に座って諸仏と語らう夢を頻繁に見ていた。そして7歳の時、仏道に入って救世の大誓願を立てようと倭斬濃山（わしのやま）の山頂に立った大師は、「仏門に入って多くの人を救いたい。釈迦如来よ、この願いが叶うなら現れたまえ。叶わぬならば、一命を捨ててこの身を諸仏に捧げる」と願をかけ、身を投げた。すると、釈迦如来と天女が現れ、落下する大師を抱きとめ、「一生成仏」の旨を告げた。感激した大師は、後に釈迦如来の像を刻み、これを本尊として出釋迦寺を造った。倭斬濃山は、この時に我拝師山という名に改められ、頂上に奥之院が建てられたという。

境　内

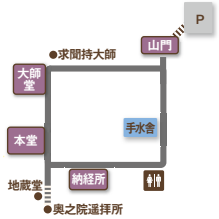
標高481mの我拝師山を背に建つ出釋迦寺。駐車場から山門の方を見上げると、全長6.5mもの高さがある修行大師像が立っている。

石段を上り、平成20年（2008）春に改修されて新しくなった山門をくぐると、こぢんまりとした境内に本堂と大師堂が軒続きで並ぶ。

大師堂に向かって右側には、求聞持大師の像が鎮座していて、弘法大師が虚空蔵菩薩の真言を百万回唱え、求聞持の法を修行する姿を表している。大師像は各地にいくつもあるが、この姿をした大師像があるのは出釋迦寺のみである。

御詠歌／迷いぬる六道衆生救わんと尊き山にいずる釋迦寺
本尊／釈迦如来
真言／のうまく　さんまんだ　ぼだなん　ばく
宗派／真言宗御室派
開基／弘法大師

蟇と巻物を彫刻した欄間がある本堂



JAPAN HERITAGE 日本遺産

「四国遍路」巡礼マップ

第73番　出釈迦寺 ▶ 第74番　甲山寺

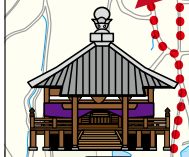
3.8km　※赤い点線は遍路道の一例です

《凡　例》

- 弘法大師ゆかりの寺院
- ゆかりの神社
- ゆかりの場所
- ファミリーレストラン
- コンビニエンスストア
- 宿泊施設
- 遍路小屋
- 休息所
- 店舗・スーパー
- コインランドリー
- 公衆トイレ
- 医療機関
- 道の駅
- 温泉
- 学校

74 こうやまじ 甲山寺

72 まんだらじ 曼荼羅寺



73 しゅっしゃかじ 出釈迦寺

75 ぜんつうじ 善通寺 宿坊

かんちいん 観智院

みえどう 善通寺御影堂

ぜんゆうじ 仙遊寺

善通寺グランドホテル

マルナカ

魚勘旅館

●我拝師山

●柳の清水

阿瀬　甲山　春日神社　中村町　善通寺養護学校　市営野球場　上組　下所　吉原小学校　吉原町　吉原保育所　吉原ボランティア公園　曼荼羅寺　弘田川　弘法池　仙遊町（一）　四国こどもとおとなの医療センター　善通寺町（四）　善通寺町（六）　善通寺町（一）　上吉田町（八）　善通寺市　筆ノ山　善通寺五岳の里 市民集いの丘公園　北西山　南西山　香色山　南町（三）　陸上自衛隊善通寺駐屯地　西部小学校　平谷

へんろみち周辺の宿泊施設

1	善通寺グランドホテル	0877-63-2111
2	魚勘旅館	0877-62-0585

N

縮尺＝1:10,000　0　500m

（信号　警察署　交番　消防署　郵便局　神社　寺院）

「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地図情報)及び数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地名情報)を使用した。（承認番号　平28情使、第1132号）」

各札所のマップはホームページでもご覧いただけます www.seichijunrei-shikokuhenro.jp

第74番 甲山寺
●香川県善通寺市弘田町1765-1
☎0877-63-0074
●宿坊／なし

第75番 善通寺
●香川県善通寺市善通寺町3-3-1
☎0877-62-0111
●宿坊／あり（要予約）

沿線の見どころ

「善通寺五岳の里」市民集いの丘公園

善通寺自慢の五岳山を背景に、約4haもの緩やかな丘陵地が広がる広大な公園。園内は四季折々の花々や木々で彩られており、「さくら街道」で花見を楽しんだり、芝生の「はらっぱ広場」でお弁当を広げたりもできる。自然に親しむ各種イベントや体験教室なども頻繁に開催され、市民をはじめ多くの人々が集い楽しむ場所となっている。

所 香川県善通寺市吉原町918-1
☎ 0877-63-8753（「善通寺五岳の里」市民集いの丘公園管理室）
営 9:00～17:00（7～9月は～18:00）
休 火曜
料 無料

境内の見どころ

岩窟の毘沙門天

岩窟のお堂に安置された、弘法大師が石を割って刻んだという毘沙門天。甲山寺建立のきっかけを作ったという不思議な翁がこの岩窟から姿を現し、大師に暗示を与えたという。数年前までは大師堂の隣でひっそりと口を開けていたが、現在は周囲を改修して、山門からでもはっきりと毘沙門天堂を見ることができる。

境内の見どころ

子安地蔵尊

大師堂へ続く石段の横に祀られているお地蔵様で、側に「ありがたや　めぐみもふかき血をわけて　家のよつぎを守るみ仏」とある。子どもに恵まれない女性がお参りし、前掛けを持ち帰ったところ懐妊し、お礼に新しい前掛けを作ってお供えしたという話から、子どもを授かる地蔵として参拝者が絶えない。

日本遺産「四国遍路」～回遊型巡礼路と独自の巡礼文化～

弘法大師空海ゆかりの札所を巡る四国遍路は、阿波・土佐・伊予・讃岐の四国を全周する全長1400キロにも及ぶ我が国を代表する壮大な回遊型巡礼路であり、札所への巡礼が1200年を超えて継承され、今なお人々により継続的に行われている。四国の険しい山道や長い石段、のどかな田園地帯、波静かな海辺や最果ての岬を「お遍路さん」が行き交う風景は、四国路の風物詩となっている。キリスト教やイスラム教などに見られる「往復型」の聖地巡礼とは異なり、国籍や宗教・宗派を超えて誰もがお遍路さんとなり、地域住民の温かい「お接待」を受けながら、供養や修行のため、救いや癒しなどを求めて弘法大師の足跡を辿る四国遍路は、自分と向き合う「心の旅」であり、世界でも類を見ない巡礼文化である。

文化庁日本遺産魅力発信推進事業／発行：四国遍路日本遺産協議会／制作：（株）エス・ピー・シー

文化庁 JAPAN HERITAGE 日本遺産

こころをつなげて四国はひとつ　四国遍路を世界遺産に

2017年3月作成

白壁に囲まれた境内には、霊地らしい清浄な空気が流れる

第74番 医王山 多宝院 甲山寺

いおうざん　たほういん　こうやまじ

満濃池治水の成功を祈願した寺

歴史・全体像

平安時代初期、善通寺と曼荼羅寺の間に寺を建立しようと霊地を探していた弘法大師は、甲山の麓で一人の翁に出会った。翁は「私は昔からこの地に住み、人々に仏の教えを広め、人々に幸福と利益を与えてきた聖者である」と言い、この地で寺を建立するよう告げたという。大師はすぐに毘沙門天像を彫り、山の岩窟に安置した。

その後、巨大なため池である満濃池が決壊。大師は朝廷から満濃池造りの別当に任命され、工事を指揮し、わずか3ヶ月で完成させたという。朝廷から報奨金を賜った大師は、工事の無事を祈願して刻んだ薬師如来を本尊として堂宇を建立、寺号を甲山寺とした。

境　内

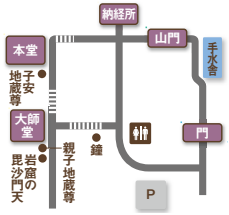
境内はそれほど広くはないが、山門の正面に建つ本堂の背後には甲山がそびえ、圧倒される。

本堂に安置されている薬師如来像は檜の一木造りで、重厚で力強い姿を見せている。本堂の左側の石段を上ったところには大師堂があり、中には黒衣をまとった大師像が建っている。大師堂の左側には毘沙門天像を安置している岩窟があり、周りはいかにも霊地らしい雰囲気が漂う。

また、岩窟の脇には甲山の山道が続き、江戸時代に開かれたという西国三十三ヶ所の札所や子どもの広場などを巡るトリムコースに続いている。

御詠歌／十二神味方に持てる戦には己れと心かぶと山かな
本尊／薬師如来
真言／おん ころころ せんだり まとうぎ そわか
宗派／真言宗善通寺派
開基／弘法大師

短い石段の上に、山の威厳を背負う本堂



歩き遍路のための「四国遍路」巡礼マップ
第74番 甲山寺 ▼ 第75番 善通寺

JAPAN HERITAGE 日本遺産

「四国遍路」巡礼マップ

第74番　甲山寺 ▶ 第75番　善通寺

3.8km　※赤い点線は遍路道の一例です

《凡　例》

- 弘法大師ゆかりの寺院
- ゆかりの神社
- ゆかりの場所
- ファミリーレストラン
- コンビニエンスストア
- 宿泊施設
- 遍路小屋
- 休息所
- 店舗・スーパー
- コインランドリー
- 公衆トイレ
- 医療機関
- 道の駅
- 温泉
- 学校

〈信号 警察署 交番 消防署 郵便局 神社 寺院〉

「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地図情報)及び数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地名情報)を使用した。（承認番号　平28情使、第1132号）」

へんろみち周辺の宿泊施設

1	善通寺グランドホテル	0877-63-2111
2	魚勘旅館	0877-62-0585

各札所のマップはホームページでもご覧いただけます www.seichijunrei-shikokuhenro.jp

第75番 善通寺
●香川県善通寺市善通寺町3-3-1
☎0877-62-0111
●宿坊／あり（要予約）

第76番 金倉寺
●香川県善通寺市金蔵寺町1160
☎0877-62-0845
●宿坊／なし

沿線の見どころ

乃木館

明治時代、旧軍第11師団司令部があった場所に建てられたルネッサンス様式の建築。初代師団長を務めた乃木将軍以下、歴代の師団長が実際に執務をしていた部屋があり、各将軍にまつわる品を展示。特に、日露戦争で活躍した乃木将軍の写真「水師営の会見」は歴史的なひとコマ。海軍や旧陸軍の資料展示室もある。

所 香川県善通寺市南町2-1-1
善通寺から南東に約1.2km
☎ 0877･62･2311（善通寺駐屯地広報）
時 見学時間9:00～12:00、13:00～16:00
休 水曜
料 無料

境内の見どころ

戒壇めぐり

御影堂の地下にある約100mの通路。いったん中に入ると静寂と暗闇に包まれ、まるで胎内にいるかのよう。闇の中を壁づたいに歩いていく。「悪行のある者は出られない」といわれるが、大師を慕い、精進して歩けば、いずれは大師が明るい灯をともしてくれる。宝物館の拝観と合わせて大人500円。

境内の見どころ

御影の池

御影堂の前に弘法大師と両親の像を祀った小さな池がある。大師が唐への留学を前に京より帰宅した時、名残を惜しむ母・玉寄御前に贈るために、自分の姿をこの池に映して自画像を描いたといわれている。池の前には、かつてこの池を覆っていた松の枯木が「御影の松」として保存されている。

文化庁
JAPAN HERITAGE
日本遺産

日本遺産「四国遍路」～回遊型巡礼路と独自の巡礼文化～

弘法大師空海ゆかりの札所を巡る四国遍路は、阿波・土佐・伊予・讃岐の四国を全周する全長1400キロにも及ぶ我が国を代表する壮大な回遊型巡礼路であり、札所への巡礼が1200年を超えて継承され、今なお人々により継続的に行われている。四国の険しい山道や長い石段、のどかな田園地帯、波静かな海辺や最果ての岬を「お遍路さん」が行き交う風景は、四国路の風物詩となっている。キリスト教やイスラム教などに見られる「往復型」の聖地巡礼とは異なり、国籍や宗教・宗派を超えて誰もがお遍路さんとなり、地域住民の温かい「お接待」を受けながら、供養や修行のため、救いや癒しなどを求めて弘法大師の足跡を辿る四国遍路は、自分と向き合う「心の旅」であり、世界でも類を見ない巡礼文化である。

文化庁日本遺産魅力発信推進事業／発行：四国遍路日本遺産協議会／制作：（株）エス・ピー・シー

こころをつなげて四国はひとつ　四国遍路を世界遺産に

2017年3月作成

金堂上層部に掲げられた「大宝楼閣陀羅尼」の筆跡が美しい

第75番 五岳山 誕生院 善通寺

ごがくさん　たんじょういん　ぜんつうじ

大師が誕生した善通寺派の総本山

歴史・全体像

真言宗善通寺派の総本山・善通寺は高野山、東寺とともに大師三大霊跡の一つに数えられ、弘法大師誕生の地でもある。創建は大同2年（807）、唐から帰国した弘法大師が生まれ故郷に真言密教の根本道場を建立したのが始まり。讃岐の豪族だった父・佐伯直田公善通から荘田を貰い受けた弘法大師は、この地にインドの八大仏跡の土砂を撒き、唐の青龍寺伽藍の雰囲気を再現しようとした。弘仁4年（813）に金堂（本堂）などの七堂伽藍が完成。大師は本尊として薬師如来像を刻んだが、現在、金堂には運長作の薬師如来坐像が安置されており、大師が刻んだものは胎内仏として祀られている。

境　内

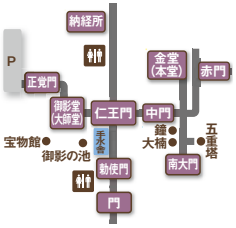
4万5000㎡もの広さを誇る境内は、「伽藍」と呼ばれる東院と、「誕生院」と呼ばれる西院に分かれる。東院は、創建以来の寺域であり、金堂と呼ばれる本堂や、五重塔、釈迦堂などが建っている。

東院から参道を通って、仁王門をくぐると西院に入る。西院は、大師が誕生された佐伯家の邸宅跡にあたり、拝殿、中殿、供養殿、奥殿を有する御影堂（大師堂）が佇んでいる。大師は奥殿のある場所で誕生したと伝えられている。

御影堂の近くにある宝物館では、重要文化財に指定されている吉祥天立像や、地蔵菩薩立像などの多くの寺宝を拝観できる。

御詠歌／我れ住まばよも消え果てじ
善通寺深き誓いの法のともし火
本尊／薬師如来
真言／おん ころころ せんだり まとうぎ そわか
宗派／真言宗善通寺派
開基／弘法大師

拝殿、中殿、供養殿、奥殿を有する御影堂



歩き遍路のための「四国遍路」巡礼マップ
第75番 善通寺 ▼ 第76番 金倉寺

JAPAN HERITAGE
日本遺産

「四国遍路」巡礼マップ

第75番　善通寺 ▶ 第76番　金倉寺

3.8km　※赤い点線は遍路道の一例です

《凡　例》

- 弘法大師ゆかりの寺院
- ゆかりの神社
- ゆかりの場所
- ファミリーレストラン
- コンビニエンスストア
- 宿泊施設
- 遍路小屋
- 休息所
- 店舗・スーパー
- コインランドリー
- 公衆トイレ
- 医療機関
- 道の駅
- 温泉
- 学校

へんろみち周辺の宿泊施設

1	魚勘旅館	0877-62-0585
2	善通寺ステーションホテル	0877-62-6222
3	善通寺グランドホテル	0877-63-2111
4	お遍路宿 ゲストハウス風のくぐる	0877-63-6110
5	ゲストハウスミカサスカサ	0877-63-1353

縮尺＝1:11,000　500m

〈信号 交警察署 交番 消防署 郵便局 神社 寺院〉

「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地図情報)及び数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地名情報)を使用した。〈承認番号　平28情使、第1132号〉」

各札所のマップはホームページでもご覧いただけます www.seichijunrei-shikokuhenro.jp

第76番 金倉寺
●香川県善通寺市金蔵寺町1160
☎0877-62-0845
●宿坊／なし

第77番 道隆寺
●香川県仲多度郡多度津町北鴨1-3-30
☎0877-32-3577
●宿坊／なし

沿線の見どころ

県立桃陵公園

多度津町の街並みと海が一望できる小高い丘の上に広がる公園で、春になると約2,500本ものソメイヨシノが咲き乱れる桜の名所。秋には萩、冬には椿などで彩られる景観は、香川新50景及び香川のみどり百選に選定されている。展望台からは瀬戸内海を見渡せ、四季それぞれの童謡で時を告げるメロディー時計の「カリヨン」は公園のシンボル的存在。

所 香川県仲多度郡津町桃山
金倉寺から北西へ4.5Km
☎0877-33-1113（多度津町産業課）

境内の見どころ

訶利帝堂（かりていどう）

本堂の隣に建つ、訶利帝母尊を祀ったお堂。金倉寺で生まれた智証大師は霊感が強く、今でいう大霊能者であった。大師が5歳の時、目の前に訶利帝母尊が現れ、大師への衛護を伝えたといわれる。訶利帝母尊とは鬼子母神のことで、500人の子を持ちながら人の子をさらって食べていたが、改心し後に仏となった。

境内の見どころ

大黒天像

境内に点在する七福神の中でもひときわ目立つ金色の大黒天で、本堂の前に置かれている。元はほかの像と同じく石肌をあらわにしていた。おみくじに付いている1.5cm角の金箔を、願いを唱えながら像に貼るとご利益があるということから、多くの人の願いを受け止めて、石造りの像は今やきらきらと輝いている。

文化庁
JAPAN HERITAGE
日本遺産

日本遺産「四国遍路」～回遊型巡礼路と独自の巡礼文化～

弘法大師空海ゆかりの札所を巡る四国遍路は、阿波・土佐・伊予・讃岐の四国を全周する全長1400キロにも及ぶ我が国を代表する壮大な回遊型巡礼路であり、札所への巡礼が1200年を超えて継承され、今なお人々により継続的に行われている。四国の険しい山道や長い石段、のどかな田園地帯、波静かな海辺や最果ての岬を「お遍路さん」が行き交う風景は、四国路の風物詩となっている。キリスト教やイスラム教などに見られる「往復型」の聖地巡礼とは異なり、国籍や宗教・宗派を超えて誰もがお遍路さんとなり、地域住民の温かい「お接待」を受けながら、供養や修行のため、救いや癒しなどを求めて弘法大師の足跡を辿る四国遍路は、自分と向き合う「心の旅」であり、世界でも類を見ない巡礼文化である。

文化庁日本遺産魅力発信推進事業／発行：四国遍路日本遺産協議会／制作：（株）エス・ピー・シー

こころをつなげて四国はひとつ　四国遍路を世界遺産に

2017年3月作成

盛衰を繰り返した境内だが、今はとてものどかな雰囲気

第76番 鶏足山 宝幢院 金倉寺

けいそくざん　ほうどういん　こんぞうじ

智証大師ゆかりの歴史ある寺

歴史・全体像

天台寺門宗の宗祖・智証大師円珍が誕生した地として知られる。善通寺より半世紀近く古い宝亀5年（774）、智証大師の祖父にあたる和気道善が一堂を建立、道善の子の宅成が道善寺と名付けた。智証大師は唐から帰国した後、故郷であるこの寺に滞在し、唐の青龍寺を模した伽藍を造営。自ら刻んだ薬師如来を本尊として安置した。その後、延長6年（928）、醍醐天皇の勅命により、地元の郷名「金倉」をとって金倉寺と改められた。

また、明治31年（1898）から約3年間、善通寺第十一師団長を務めていた乃木将軍が客殿を仮住居としていた。今でも寺には将軍愛用の品々が残されている。

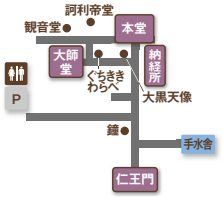
境　内

最盛期には広大な境内に132坊を有していたが、幾多の兵火によりすべて焼失。無事だったのは、智証大師が唐へ渡る前に両親に贈った自画像と本尊のみである。

現在の本堂は昭和の時代に再建されたもの。本堂を正面にして左を向くと大師堂があり、中には智証大師像とともに弘法大師の像も安置されている。「大師」の称号を得るということは当時の最高の名誉で、智証大師と弘法大師は「讃岐の五大師」に数えられている。境内には、子授け・安産の神様として「おかるてんさん」の愛称で親しまれてきた訶利帝母尊（かりていもそん）の御堂や、かわいらしい七福神の像もある。

御詠歌／まことにも神仏僧をひらくれば真言加持の不思議なりけり
本尊／薬師如来
真言／おん ころころ せんだり まとうぎ そわか
宗派／天台寺門宗
開基／和気道善

本堂入り口でお守りなどを授与している



歩き遍路のための「四国遍路」巡礼マップ
第76番 金倉寺 ▼ 第77番 道隆寺

JAPAN HERITAGE
日本遺産

「四国遍路」巡礼マップ

第76番　金倉寺 ▶ 第77番　道隆寺

3.9km　※赤い点線は遍路道の一例です

《凡　例》

- 弘法大師ゆかりの寺院
- ゆかりの神社
- ゆかりの場所
- 宿泊施設
- 遍路小屋
- 休息所
- 公衆トイレ
- 医療機関
- 道の駅
- ファミリーレストラン
- 店舗・スーパー
- 温泉
- コンビニエンスストア
- コインランドリー
- 学校

77 どうりゅうじ 道隆寺

76 こんぞうじ 金倉寺

イオン ザ・ビッグ

くるみクリニック

嶋田耳鼻咽喉科

多度津自動車学校

多度津駅

加茂神社

豊原小学校

小山クリニック

中野小児科

八幡の森 ほたるの里公園

葛原正八幡神社

ゲストハウス ミカサスカサ

藤沢医院

金蔵寺駅

丸亀市

多度津町

善通寺市

JR土讃線

へんろみち周辺の宿泊施設

1　ゲストハウスミカサスカサ　0877-63-1353

縮尺＝1:12,000　0　500m

〈信号　警察署　交番　消防署　郵便局　神社　寺院〉

「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地図情報)及び数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地名情報)を使用した。(承認番号　平28情使、第1132号)」

各札所のマップはホームページでもご覧いただけます www.seichijunrei-shikokuhenro.jp

第77番 道隆寺
●香川県仲多度郡多度津町北鴨1-3-30
☎0877-32-3577
●宿坊／なし

第78番 郷照寺
●香川県綾歌郡宇多津町1435
☎0877-49-0710
●宿坊／なし

沿線の見どころ

丸亀城

慶長2年（1597）に高松城の支城として生駒親正が築城を始め、5年後に完成、元和元年（1615）の一国一城令により廃城となったが、寛永18年（1641）に山崎家治が再建、万治3年（1660）に京極高和が現在の天守を完成させた。「石垣の城」とも称され、美しい石垣は高さ日本一。風格の漂う三層三階の天守は現存木造12天守のひとつとしても知られる。

所 香川県丸亀市一番丁
☎ 0877･22･0331（丸亀市観光協会）
営 見学自由
休 無休
料 大人200円、小人（中学生以下）100円、20人以上の団体は2割引

沿線の見どころ

中津万象園・丸亀美術館

丸亀藩京極家の二代目藩主京極高豊が築いた、約1万5000坪の池泉回遊式大名庭園。八景池に配した8つの島や茅葺き屋根の母屋などが雅な風景だ。「味処　懐風亭」からも風情を楽しめる。園内にある「丸亀美術館」には、フランス絵画を常設する絵画館、古代オリエントの陶器を展示した陶器館があり、見どころ満載。

所 香川県丸亀市中津町25-1
金倉寺から県道33号線経由、北方向に約4.3km
☎ 0877･23･6326
営 9:30～17:00
休 水曜
料 中津万象園:入園料大人700円、絵画館:大人500円

境内の見どころ

びんずるさま

真っ赤な姿が目をひく「びんずるさま」は、釈迦の直弟子であり、自らも1000人ほどの弟子を育てた羅漢の一人。「なで仏」とも呼ばれ、病気の人が「びんずるさま」の像をなで、その手で自分の悪いところをさすると、平癒するといわれている。本堂入り口の左側にあり、誰でも触れることができる。

文化庁
JAPAN HERITAGE
日本遺産

日本遺産「四国遍路」～回遊型巡礼路と独自の巡礼文化～

弘法大師空海ゆかりの札所を巡る四国遍路は、阿波・土佐・伊予・讃岐の四国を全周する全長1400キロにも及ぶ我が国を代表する壮大な回遊型巡礼路であり、札所への巡礼が1200年を超えて継承され、今なお人々により継続的に行われている。四国の険しい山道や長い石段、のどかな田園地帯、波静かな海辺や最果ての岬を「お遍路さん」が行き交う風景は、四国路の風物詩となっている。キリスト教やイスラム教などに見られる「往復型」の聖地巡礼とは異なり、国籍や宗教・宗派を超えて誰もがお遍路さんとなり、地域住民の温かい「お接待」を受けながら、供養や修行のため、救いや癒しなどを求めて弘法大師の足跡を辿る四国遍路は、自分と向き合う「心の旅」であり、世界でも類を見ない巡礼文化である。

文化庁日本遺産魅力発信推進事業／発行：四国遍路日本遺産協議会／制作：（株）エス・ピー・シー

こころをつなげて四国はひとつ　四国遍路を世界遺産に

2017年3月作成

参道沿いから本堂脇、裏まで観音像がずらりと並ぶ

第77番 桑多山明王院 道隆寺

そうたざん　みょうおういん　どうりゅうじ

眼なおしの秘仏「二体薬師」の寺

歴史・全体像

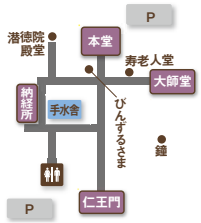
和銅5年（712）、当時の領主・和気道隆が、夜ごと怪光を放つ桑の木で薬師如来の小像を刻み、堂を建てて安置したのが始まり。道隆の子・朝祐は、唐から帰国した弘法大師に師事した。大師は自ら刻んだ薬師如来の胎内に道隆の薬師如来を納め、本尊とした。一体の像の中にもう一体の像があることから、この薬師如来は腹ごもり薬師、二体薬師とも呼ばれ、50年に一度開帳される秘仏となっている。また、「眼なおし薬師さま」とも呼ばれ、全国から眼病平癒祈願の信者が訪れる。その由来には、幼少の頃に盲目だった丸亀京極藩の京極左馬造公がこの薬師如来に祈願したところ、全快したという話が残る。

境　内

かつては広大な寺域を誇ったが幾多の戦禍に遭い、現在の諸堂は江戸時代に歴代住職の尽力によって再建されたものである。県道沿いに本堂、大師堂、鐘楼、多宝塔などの伽藍が配置されているが、300mほど離れた畑の中には本坊と護摩堂が残っている。参道沿いには、255体の観音像がずらりと並んでいる。
本堂に向かって右手にある大師堂は寛永7年（1630）に建立したもの。堂の前には、弘法大師と衛門三郎の像がある。納経所は本堂に向かって左側、参道から少しそれたところにある。本堂を左にまわって歩くと、潜徳院殿堂（せんとくいんでんどう）が見える。

御詠歌／願いをば仏道隆に入りはてて菩提の月を見まくほしさに
本尊／薬師如来
真言／おん ころころ せんだり まとうぎ そわか
宗派／真言宗醍醐派
開基／和気道隆

本堂左には、「びんずるさま」が鎮座



歩き遍路のための「四国遍路」巡礼マップ

第77番 道隆寺 ▼ 第78番 郷照寺

JAPAN HERITAGE
日本遺産

「四国遍路」巡礼マップ

第77番　道隆寺 ▶ 第78番　郷照寺

7.2km　※赤い点線は遍路道の一例です

《凡　例》

- 弘法大師ゆかりの寺院
- ゆかりの神社
- ゆかりの場所
- 宿泊施設
- 遍路小屋
- 休息所
- 公衆トイレ
- 医療機関
- 道の駅
- 温泉
- 学校
- ファミリーレストラン
- コンビニエンスストア
- 店舗・スーパー
- コインランドリー

縮尺＝1:13,000　0　500m

〈信号　警察署　交番　消防署　郵便局　神社　寺院〉

『この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地図情報)及び数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地名情報)を使用した。（承認番号　平28情使、第1132号）』

へんろみち周辺の宿泊施設の案内

1　香川県ホテル旅館生活衛生同業組合　087-851-2661

2　丸亀市観光協会　0877-22-0331

各札所のマップはホームページでもご覧いただけます www.seichijunrei-shikokuhenro.jp

第78番 郷照寺
●香川県綾歌郡宇多津町1435
☎0877-49-0710
●宿坊／なし

第79番 天皇寺
●香川県坂出市西庄町1713-2
☎0877-46-3508
●宿坊／なし

沿線の見どころ

宇多津 古街(co-machi)

室町幕府3代将軍足利義満を補佐した管領・細川頼之が居を構え、中世以降は港町、塩の町として繁栄した宇多津。町役場の南側一帯は「古街(こまち)」と呼ばれ、由緒ある神社仏閣や町家、洋館などが建ち並ぶノスタルジックエリア。界隈の道路はエリアの雰囲気に合わせて燻しレンガを使って整備されており、起伏もなく散策に適している。

所 香川県綾歌郡宇多津町
☎ 0877-49-8009(宇多津町まちづくり課)

境内の見どころ

瀬戸大橋を望む風景

境内から一番間近に瀬戸大橋が眺められる霊場がここ。境内北側からは、吊り橋の南備讃瀬戸大橋がよく見え、天気のいい日には塩飽(しわく)諸島を見ることもできる。この瀬戸大橋を望むポイントのほか、池の周囲に様々な樹木が植えられた庭園など、境内には記念撮影に最適なスポットが点在する。

境内の見どころ

庚申堂

民間信仰の「庚申信仰」を伝えるお堂で、本尊は6本の手を持つ青面金剛。庚申信仰は、人間の体の中にいる「三尸」という霊が庚申の夜、眠っている間に体から抜け出て天に昇り、天帝にその人の罪状を告げるというもの。そのため庚申の夜は人々が庚申堂に集まり、眠らず語り明かすという風習があった。

文化庁 JAPAN HERITAGE 日本遺産

日本遺産「四国遍路」～回遊型巡礼路と独自の巡礼文化～

弘法大師空海ゆかりの札所を巡る四国遍路は、阿波・土佐・伊予・讃岐の四国を全周する全長1400キロにも及ぶ我が国を代表する壮大な回遊型巡礼路であり、札所への巡礼が1200年を超えて継承され、今なお人々により継続的に行われている。四国の険しい山道や長い石段、のどかな田園地帯、波静かな海辺や最果ての岬を「お遍路さん」が行き交う風景は、四国路の風物詩となっている。キリスト教やイスラム教などに見られる「往復型」の聖地巡礼とは異なり、国籍や宗教・宗派を超えて誰もがお遍路さんとなり、地域住民の温かい「お接待」を受けながら、供養や修行のため、救いや癒しなどを求めて弘法大師の足跡を辿る四国遍路は、自分と向き合う「心の旅」であり、世界でも類を見ない巡礼文化である。

文化庁日本遺産魅力発信推進事業／発行：四国遍路日本遺産協議会／制作：(株)エス・ピー・シー

こころをつなげて四国はひとつ　四国遍路を世界遺産に

2017年3月作成

歩き遍路のための「四国遍路」巡礼マップ

第78番 郷照寺 ▼ 第79番 天皇寺

見どころの多い境内はゆっくりと散策したい

第78番 仏光山 広徳院 郷照寺

ぶっこうざん　こうとくいん　ごうしょうじ

瀬戸大橋を望む厄除けの寺

歴史・全体像

宇多津町の南、青ノ山のふもとの高台に建ち、境内からは臨海に広がる宇多津の町と瀬戸大橋を望む。奈良時代、行基が「道場寺」の名で開創した古刹で、後に弘法大師が42歳の時、自作の尊像を刻み、厄除けの誓願をしたことから「厄除けうたづ大師」として信仰を集めている。その後、時宗の開祖である一遍上人により中興され、室町時代には守護大名の庇護を得て栄えたが、長宗我部軍の兵火により伽藍を焼失。江戸時代に入り、高松藩主松平頼重により再興された。その際、宗派を真言宗とともに一遍上人を偲んで時宗も奉持することにした、四国霊場中、唯一の特別霊場となる。

境　内

本堂は江戸初期に再興されたもので、二層になった屋根の形が特徴。これは東大寺など、奈良の寺院によく見られる奈良様式の造りで、霊場の中でも珍しい。

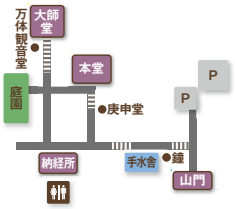
本堂脇の石段を上ったところに大師堂があり、厄除け祈願に訪れる人が絶えない。

参道脇には地下のお堂に信者が寄進した1万体以上の観音像を納めた万体観音堂がある。

そのほか、県内では珍しい庚申堂や、女性の守り神である淡島明神堂、本坊の裏手にある池泉観賞式の庭園など、見どころも多く、宗派を越えて信仰を集めている寺院である。

御詠歌／踊りはね念仏申す道場寺
拍子をそろえ鉦を打つなり
本尊／阿弥陀如来
真言／おん あみりた ていせい からうん
宗派／真言宗・時宗
開基／行基菩薩

本堂は二層屋根で霊場では珍しい奈良様式



JAPAN HERITAGE 日本遺産

「四国遍路」巡礼マップ

第78番　郷照寺 ▶ 第79番　天皇寺

5.9km　※赤い点線は遍路道の一例です

《凡　例》

- 弘法大師ゆかりの寺院
- ゆかりの神社
- ゆかりの場所
- 宿泊施設
- 遍路小屋
- 休息所
- 公衆トイレ
- 医療機関
- 道の駅
- ファミリーレストラン
- 店舗・スーパー
- 温泉
- コンビニエンスストア
- コインランドリー
- 学校

へんろみち周辺の宿泊施設

1	寿美久満	0877-49-0358
2	旅館公楽	0877-49-0334
3	ビジネスホテルうたづ	0877-49-4146
4	川久米旅館	0877-46-2119
5	旅館みき	0877-46-5441
6	ビジネスホテル三中井	0877-45-2209

各札所のマップはホームページでもご覧いただけます www.seichijunrei-shikokuhenro.jp

第79番 天皇寺
●香川県坂出市西庄町1713-2
☎0877-46-3508
●宿坊／なし

第80番 國分寺
●香川県高松市国分寺町国分2065
☎087-874-0033
●宿坊／なし

沿線の見どころ

おへんろの駅こくぶ

お遍路さんや地元の人々に愛されている接待所。日替わり定食（500円）は、旬の食材を使った家庭料理で、そのボリュームも魅力。「てっぱい」「マンバのけんちゃん」など讃岐の郷土料理が並ぶこともある。オーダー後に豆を挽いて淹れるコーヒーも美味。5月にはうどんの無料接待も行っている。

所 香川県高松市国分寺町国分959
☎ 087･874･0207
営 10:30～15:00
休 月･火曜

境内の見どころ

三輪鳥居

天皇寺境内には三輪鳥居をくぐり進む。この鳥居は嵯峨天皇と空海により生み出された両部神道を根本とする三輪神道を象徴するため、正面鳥居から境内へ入ることが重要とされる。三輪鳥居は別名三口鳥居といわれ、向かって右口は胎蔵界を、左口は金剛界を、そして正面口は天照大神を象徴する。

境内の見どころ

白峰宮

讃岐の地で崩御した崇徳上皇ゆかりの神社。後嵯峨天皇が崇徳上皇の御霊を慰めるために崇徳天皇社を建立し、明治元年（1868）の神仏分離により白峰宮となった。拝殿前には香川県の保存木にもなっている樹高26m、樹齢約500年とみられる楠の大木がそびえ、御神木として崇められている。

文化庁 JAPAN HERITAGE 日本遺産

日本遺産「四国遍路」～回遊型巡礼路と独自の巡礼文化～

弘法大師空海ゆかりの札所を巡る四国遍路は、阿波・土佐・伊予・讃岐の四国を全周する全長1400キロにも及ぶ我が国を代表する壮大な回遊型巡礼路であり、札所への巡礼が1200年を超えて継承され、今なお人々により継続的に行われている。四国の険しい山道や長い石段、のどかな田園地帯、波静かな海辺や最果ての岬を「お遍路さん」が行き交う風景は、四国路の風物詩となっている。キリスト教やイスラム教などに見られる「往復型」の聖地巡礼とは異なり、国籍や宗教・宗派を超えて誰もがお遍路さんとなり、地域住民の温かい「お接待」を受けながら、供養や修行のため、救いや癒しなどを求めて弘法大師の足跡を辿る四国遍路は、自分と向き合う「心の旅」であり、世界でも類を見ない巡礼文化である。

文化庁日本遺産魅力発信推進事業／発行：四国遍路日本遺産協議会／制作：（株）エス・ピー・シー

こころをつなげて四国はひとつ　四国遍路を世界遺産に

2017年3月作成

本堂は江戸時代に再建されたもの

第79番 金華山 高照院 天皇寺
きんかざん　こうしょういん　てんのうじ

三輪神道により構築された神仏習合境内

歴史・全体像

奈良時代に行基が金山中腹に建立した本尊を薬師如来とする金山摩尼珠院は、弘仁6年（815）に空海が新たに本尊十一面観音・阿弥陀如来・愛染明王の三尊像を彫像して安置し、金華山妙成就寺摩尼珠院として現在の地で中興された。保元の乱（1156）の後に讃岐へと移った崇徳天皇が守護仏として信仰した阿弥陀如来と、天照大神御法楽仏は十一面観音であるとする古からの信仰を縁に、境内に崇徳天皇の霊を鎮める崇徳天皇社を建立、崇徳天皇永代供養の詔を受けて天皇寺と呼ばれるようになった。明治時代の廃仏毀釈により境内は寺院と神社に二分されたが、かつての神仏習合思想は現在にもなお受け継がれている。

境　内

境内正面には、俗世と霊地との結界を意味する朱色の鳥居がそびえ立ち、その右手には天皇寺を示す大きな石碑が建つ。鳥居の先には広大な境内が広がり、真正面に見える崇徳天皇社は、明治時代に崇徳天皇御魂が京都白峰神社へ帰り、現在は天照大神と金山権現を祀る白峰宮となっている。そして左手には本堂と大師堂が配置されている。

なお、崇徳天皇御法楽の役割を担う十一面観音は、金剛界説法と胎蔵界説法を用いて衆生救済をするとの発心のため、本堂正面（金剛界説法）と本堂背面（胎蔵界説法）を拝むことが習いとされる。

御詠歌／十楽の浮世の中をたずぬべし天皇さえもさすらいぞある
本尊／十一面観世音菩薩
真言／おん まか きゃろにきゃ そわか
宗派／真言宗御室派
開基／行基菩薩

朱塗りの鳥居から広々とした境内に入る

歩き遍路のための「四国遍路」巡礼マップ
第79番 天皇寺 ▼ 第80番 國分寺

JAPAN HERITAGE 日本遺産

「四国遍路」巡礼マップ

第79番　天皇寺 ▶ 第80番　國分寺

6.9km　※赤い点線は遍路道の一例です

《凡　例》

- 弘法大師ゆかりの寺院
- ゆかりの神社
- ゆかりの場所
- 宿泊施設
- 遍路小屋
- 休息所
- 公衆トイレ
- 医療機関
- 道の駅
- ファミリーレストラン
- 店舗・スーパー
- 温泉
- コンビニエンスストア
- コインランドリー
- 学校

79 天皇寺（てんのうじ）

80 國分寺（こくぶんじ）

へんろみち周辺の宿泊施設

1	城山温泉	0877-48-0211
2	えびすや旅館	087-874-0567

縮尺＝1:20,000　0　1000m

〈信号　警察署　交番　消防署　郵便局　神社　寺院〉

「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地図情報)及び数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地名情報)を使用した。(承認番号　平28情使、第1132号)」

各札所のマップはホームページでもご覧いただけます www.seichijunrei-shikokuhenro.jp

第80番 國分寺
●香川県高松市国分寺町国分2065
☎087-874-0033
●宿坊／なし

第81番 白峯寺
●香川県坂出市青海町2635
☎0877-47-0305
●宿坊／あり（団体のみ宿泊可能）

沿線の見どころ

五色台温泉

周囲を深い緑に囲まれた、知る人ぞ知る秘湯。足湯に浸かりながら、同時に森林浴気分も味わえる情緒豊かな癒しスポットだ。足湯の後の足裏マッサージもあるので、旅の疲れをじっくり癒すのに最適。療養泉として評判の温泉水は販売もされている。瀬戸内を望む景勝地のひとつである五色台のふもとで、季節ごとの自然を楽しみながら過ごしたい。

所 香川県高松市国分寺町国分2956-12
☎ 087-874-4535
営 10:00～16:00
休 水曜
料 足湯200円

沿線の見どころ

讃岐国分寺跡資料館

讃岐国分寺跡は聖武天皇により全国に建立された官営僧寺跡の一つ。現國分寺を含む東西330m、南北240mが国指定の特別史跡。資料館では発掘調査での出土品や国分寺金堂模型を展示。館の西側は史跡公園として整備され、一部復元した僧房跡や10分の1サイズの伽藍配置模型を設置し、創建当時を垣間見られる。

所 香川県高松市国分寺町国分2177-1
☎ 087-874-8840
営 9:00～16:30
休 月曜（祝日の場合は翌日）
料 史跡整備地は見学自由、資料館は大人100円

境内の見どころ

梵鐘

創建から近い時期に鋳造された銅鐘は四国最古級といわれ、国の重要文化財。昔、百々渕にいた大蛇がかぶっていたものを、弓の名人が退治し寺に寄進したという伝説を持つ。また、生駒一正が高松城に持ち帰ったが、鐘は鳴らず、悪病が流行。毎夜、鐘が夢に「いぬ（帰る）、いぬ」と現れ、慌てて返したという話もある。

日本遺産「四国遍路」～回遊型巡礼路と独自の巡礼文化～

弘法大師空海ゆかりの札所を巡る四国遍路は、阿波・土佐・伊予・讃岐の四国を全周する全長1400キロにも及ぶ我が国を代表する壮大な回遊型巡礼路であり、札所への巡礼が1200年を超えて継承され、今なお人々により継続的に行われている。四国の険しい山道や長い石段、のどかな田園地帯、波静かな海辺や最果ての岬を「お遍路さん」が行き交う風景は、四国路の風物詩となっている。キリスト教やイスラム教などに見られる「往復型」の聖地巡礼とは異なり、国籍や宗教・宗派を超えて誰もがお遍路さんとなり、地域住民の温かい「お接待」を受けながら、供養や修行のため、救いや癒しなどを求めて弘法大師の足跡を辿る四国遍路は、自分と向き合う「心の旅」であり、世界でも類を見ない巡礼文化である。

文化庁日本遺産魅力発信推進事業／発行：四国遍路日本遺産協議会／制作：（株）エス・ピー・シー

文化庁
JAPAN HERITAGE
日本遺産

こころをつなげて四国はひとつ　四国遍路を世界遺産に

2017年3月作成

境内には見事な枝振りの松が生い茂っている

第80番 白牛山千手院 國分寺

はくぎゅうざん　せんじゅいん　こくぶんじ

千年の歴史を伝える讃岐国分寺

歴史・全体像

天平13年（741）、聖武天皇の勅願により全国に建立された国分寺の一つ。行基が十一面千手観世音菩薩像を安置して開基した。その後、弘法大師が本尊や伽藍を補修し、霊場に定めた。当時は東西220m、南北240mの広大な寺域をもち、金堂や鐘楼、七重塔、僧房などが建ち並ぶ大寺院であった。戦国時代には兵火にかかり、本堂と鐘楼を残して焼失。後に讃岐国守の生駒家や高松藩主松平家によって庇護された。境内には、国の重要文化財に指定された入母屋造りの本堂や国の特別史跡指定の理由となった旧金堂の礎石があり、往時の隆盛を今に伝える。北東2kmの場所には国分尼寺跡（現法華寺）がある。

境　内

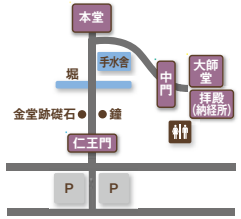
ＪＲ予讃線「国分駅」から歩いて3分ほど。見事な枝ぶりの松に迎えられ、仁王門をくぐると、参道の両側には八十八ヶ所本尊の石仏が並んでいる。

正面に佇むのは鎌倉中期の建築で、国指定の重要文化財である本堂。欅の一木造りの本尊は、60年に一度開帳される。本堂に向かって右手には多宝塔形式の大師堂が見える。大師堂は中門をくぐり、塀の向こうの拝殿（納経所）からお参りする。

境内には地蔵堂や閻魔堂、縁結社など様々なお堂や社が点在。松盆栽で知られる土地柄からか、高さ20mを超すクロマツなどの立派な松が目を楽しませてくれる。

御詠歌／国を分け野山をしのぎ
寺々にまいれる人を助けましませ
本尊／十一面千手観世音菩薩
真言／おん ばざら たらま きりく
宗派／真言宗御室派
開基／行基菩薩

鎌倉時代に再建された入母屋造りの本堂



歩き遍路のための「四国遍路」巡礼マップ

第80番 國分寺 ▼ 第81番 白峯寺

JAPAN HERITAGE
日本遺産

「四国遍路」巡礼マップ

第80番　國分寺 ▶ 第81番　白峯寺

6.5km　※赤い点線は遍路道の一例です

《凡　例》

- 弘法大師ゆかりの寺院
- ゆかりの神社
- ゆかりの場所
- 宿泊施設
- 遍路小屋
- 休息所
- 公衆トイレ
- 医療機関
- 道の駅
- ファミリーレストラン
- 店舗・スーパー
- 温泉
- コンビニエンスストア
- コインランドリー
- 学校

へんろみち周辺の宿泊施設

1	えびすや旅館	087-874-0567
2	ニューサンピア坂出	0877-47-0531

〈信号 ⊗ 警察署 X 交番 Y 消防署 郵便局 ⛩ 神社 卍 寺院〉

「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地図情報)及び数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地名情報)を使用した。（承認番号　平28情使、第1132号）」

第81番 白峯寺
●香川県坂出市青海町2635
☎0877-47-0305
●宿坊／あり（団体のみ宿泊可能）

第82番 根香寺
●香川県高松市中山町1506
☎087-881-3329
●宿坊／なし

沿線の見どころ

山のお旅所 白峰パークセンター

白峯寺へと続く参道入り口に位置する。1階は各種会合やイベント開催などに利用できる展示室、2階は「山のお旅所」として各種観光案内と軽食を提供。お遍路さんや観光客の憩いの空間となっている。屋上からは美しい瀬戸内海や瀬戸大橋の眺望が楽しめ、絶好の撮影ポイントとしても好評だ。展示室の利用は坂出市観光協会（0877-35-8428）へ。

所 香川県坂出市高屋町2042-255
☎ 0877-47-4135
営 9:00～16:00
休 月・火曜
料 使用料無料

沿線の見どころ

休暇村 讃岐五色台

瀬戸内海と瀬戸大橋が一望できる高台に位置する休暇村。特に夕暮れの景色は格別だ。瀬戸内の新鮮な魚介類をふんだんに使った料理が自慢のレストランや、眺望抜群の展望大浴場など、施設も充実。丁寧なサービスでゆったりとくつろげる。お遍路さんプラン1泊2食付8,020円～（土曜、休前日は+1,080円）。

所 香川県坂出市大屋冨町3042
白峯寺から北へ約11km
☎ 0877-47-0231
営 日帰り入浴11:00～16:00（湯の入替日は13:00～）、売店7:00～21:00
休 無休
料 日帰り入浴大人410円

境内の見どころ

頓証寺殿（とんしょうじでん）

崇徳上皇の御廟所。中央に上皇の尊霊、向かって左は相模坊大権現、右は御念持仏十一面観世音を祀る。参道左手には西行法師の像と歌碑が建つ。江戸時代、上田秋成が書いた『雨月物語』の第一章「白峯」には、この地で西行が上皇の怨霊と論戦を繰り広げ、詠歌と読経により霊を鎮めた話が書かれている。

文化庁
JAPAN HERITAGE
日本遺産

日本遺産「四国遍路」～回遊型巡礼路と独自の巡礼文化～

弘法大師空海ゆかりの札所を巡る四国遍路は、阿波・土佐・伊予・讃岐の四国を全周する全長1400キロにも及ぶ我が国を代表する壮大な回遊型巡礼路であり、札所への巡礼が1200年を超えて継承され、今なお人々により継続的に行われている。四国の険しい山道や長い石段、のどかな田園地帯、波静かな海辺や最果ての岬を「お遍路さん」が行き交う風景は、四国路の風物詩となっている。キリスト教やイスラム教などに見られる「往復型」の聖地巡礼とは異なり、国籍や宗教・宗派を超えて誰もがお遍路さんとなり、地域住民の温かい「お接待」を受けながら、供養や修行のため、救いや癒しなどを求めて弘法大師の足跡を辿る四国遍路は、自分と向き合う「心の旅」であり、世界でも類を見ない巡礼文化である。

文化庁日本遺産魅力発信推進事業／発行：四国遍路日本遺産協議会／制作：（株）エス・ピー・シー

こころをつなげて四国はひとつ　四国遍路を世界遺産に

2017年3月作成

白峰山の中腹を行く参道からは瀬戸内の景色を望むこともできる

第81番 綾松山洞林院（りょうしょうざん どうりんいん） 白峯寺（しろみねじ）

崇徳上皇の御陵と御廟所を持つ寺

歴史・全体像

5つの峰に五色の名がついた五色台の一つ、標高377mの白峰山。弘仁6年（815）、弘法大師が白峰に宝珠を埋めて井戸を掘り、堂を建立。後にこの山上に霊光を見てやってきた智証大師円珍は、白髪の老翁からここは霊地だと告げられる。そこで、瀬戸内海を漂っていた霊木で千手観音を刻み、本尊とした。老翁は寺の鎮守、白峯大権現といわれている。保元の乱で讃岐配流となった崇徳上皇は、現在の坂出市内で9年間滞在され、この地で崩御。遺体は荼毘に付され、山腹の白峯御陵に葬られたが、以後、都では変事が続き、後小松天皇はこのお堂に上皇の霊を祀る御廟所として頓証寺殿の称号を贈った。

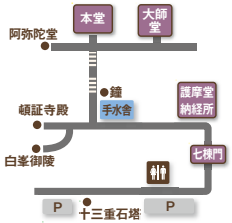
境　内

門の左右に塀を連ねた「七棟門」といわれる山門をくぐると納経所と護摩堂があり、本堂、大師堂は100段近い石段を上った先にある。石段脇には阿弥陀堂、行者堂、薬師堂などの諸堂が並ぶ。本堂は讃岐国守の生駒一正の再建によるものだ。

本尊は智証大師作の千手観音で、人々を災難から救う「身代わり観音様」として信仰されている。本堂に向かって右側に建つ大師堂は、高松藩主松平頼儀が再建したもの。上皇の悲話を伝える玉章木（たまずさのき）や、上皇崩御の3年後、ここを訪れた西行法師の像と歌碑もある。

御詠歌／霜さむく露白妙の寺のうち
御名を称うる法の声ごえ
本尊／千手観世音菩薩
真言／おん ばざら たらま きりく
宗派／真言宗御室派
開基／弘法大師、智証大師

長い石段を上りきった先に現れる本堂



歩き遍路のための「四国遍路」巡礼マップ
第81番 白峯寺 ▼ 第82番 根香寺

JAPAN HERITAGE
日本遺産

へんろみち周辺の宿泊施設

1	喝破道場	087-882-4022
2	ニューサンピア坂出	0877-47-0531

第82番 根香寺
●香川県高松市中山町1506
☎087-881-3329
●宿坊／なし

第83番 一宮寺
●香川県高松市一宮町607
☎087-885-2301
●宿坊／なし

沿線の見どころ

高松クレーターの湯 天然温泉きらら

約1500年前に隕石が衝突してできたという説もある高松クレーターの地下から湧出。毎分270ℓの豊富な湯量が自慢。露天風呂スペースには、揚子江上流で切り出した一枚岩をくり抜いたクレーター風呂や信楽焼の壷風呂などがある。レストランやリラクゼーションルームのほか、別棟には宿泊施設（別途有料）も完備。

所 香川県高松市一宮町800-1
83番一宮寺から北東へ約500m
☎ 087-815-6622
営 6:00～翌2:00
休 第3火曜（祝日の場合は営業）
料 大人700円

境内の見どころ

五大明王堂

弘法大師の開基にちなんだ五大尊（五大明王）木像を安置しているお堂。本堂へと向かう参道の途中、納経所近くにある。中央の不動明王像は寄木造り玉眼入り古色塗の等身大で、鎌倉時代の作。これを取り囲む他の四明王は江戸時代の作である。いずれも県の有形文化財に指定されている。

境内の見どころ

牛鬼の像

この寺は「牛鬼伝説」でも知られており、駐車場のそばには目を見開いた形相の牛鬼像が建つ。約400年前、青峰山に住む牛鬼という怪物が人々を苦しめていた。弓の名手・山田蔵人高清が本尊に願をかけ、見事、牛鬼を射止め、切り取った角を寺に奉納した。現在も寺には牛鬼の角と絵姿が残っている。

文化庁 JAPAN HERITAGE 日本遺産

日本遺産「四国遍路」～回遊型巡礼路と独自の巡礼文化～

弘法大師空海ゆかりの札所を巡る四国遍路は、阿波・土佐・伊予・讃岐の四国を全周する全長1400キロにも及ぶ我が国を代表する壮大な回遊型巡礼路であり、札所への巡礼が1200年を超えて継承され、今なお人々により継続的に行われている。四国の険しい山道や長い石段、のどかな田園地帯、波静かな海辺や最果ての岬を「お遍路さん」が行き交う風景は、四国路の風物詩となっている。キリスト教やイスラム教などに見られる「往復型」の聖地巡礼とは異なり、国籍や宗教・宗派を超えて誰もがお遍路さんとなり、地域住民の温かい「お接待」を受けながら、供養や修行のため、救いや癒しなどを求めて弘法大師の足跡を辿る四国遍路は、自分と向き合う「心の旅」であり、世界でも類を見ない巡礼文化である。

文化庁日本遺産魅力発信推進事業／発行：四国遍路日本遺産協議会／制作：（株）エス・ピー・シー

こころをつなげて四国はひとつ　四国遍路を世界遺産に

2017年3月作成

境内には凛とした修験道場の趣が漂う

第82番 青峰山千手院 根香寺

あおみねざん　せんじゅいん　ねごろじ

牛鬼伝説の残る五色台山中の古刹

歴史・全体像

五色台の青峰山中にあり、深い緑に包まれた寺。入唐前の弘法大師が五色台の5つの峰に金剛界曼荼羅の五智如来を感じ、五大明王を祀って花蔵院を建立したのが始まり。その後、大師の甥の智証大師が訪れ、山の鎮守である市ノ瀬明神のお告げにより、霊木で千手観音像を刻み、これを本尊として千手院を開いた。この2院を総称して根香寺と号した。智証大師が本尊を彫った霊木の切り株が芳香を放っていたことが寺の名の由来である。後の後白河上皇はこの本尊を深く信仰、後に上皇の祈願所となり99の末寺を持つ巨刹として栄えた。その後、兵火により焼失。高松藩主松平頼重により再建された。

境　内

仁王門から本堂までは一直線となっているが、いったん石段を下り、また上って到着する。本堂へはコの字型の廻廊式前堂「万体観音堂」を進む。堂内には信者が寄進した3万体余りの観音像が祀られている。本尊の千手観音像は桜材の一木造りで、33年に一度開帳される秘仏。朱塗りの大師堂は本堂への参道の右手にあり、明治から大正にかけて建てられたものだ。

参道沿いや境内には楓の木が多く、シーズンには山全体が赤く染まるほど美しい。県下有数の紅葉スポットとしても知られている。

御詠歌／宵の間のたえふる霜の消えぬればあとこそ鉦の勤行の声
本尊／千手観世音菩薩
真言／おん ばざら たらま きりく そわか
宗派／天台宗
開基／弘法大師、智証大師

秋には本堂の周囲も紅葉に包まれる

歩き遍路のための「四国遍路」巡礼マップ

第82番 根香寺 ▼ 第83番 一宮寺

JAPAN HERITAGE 日本遺産

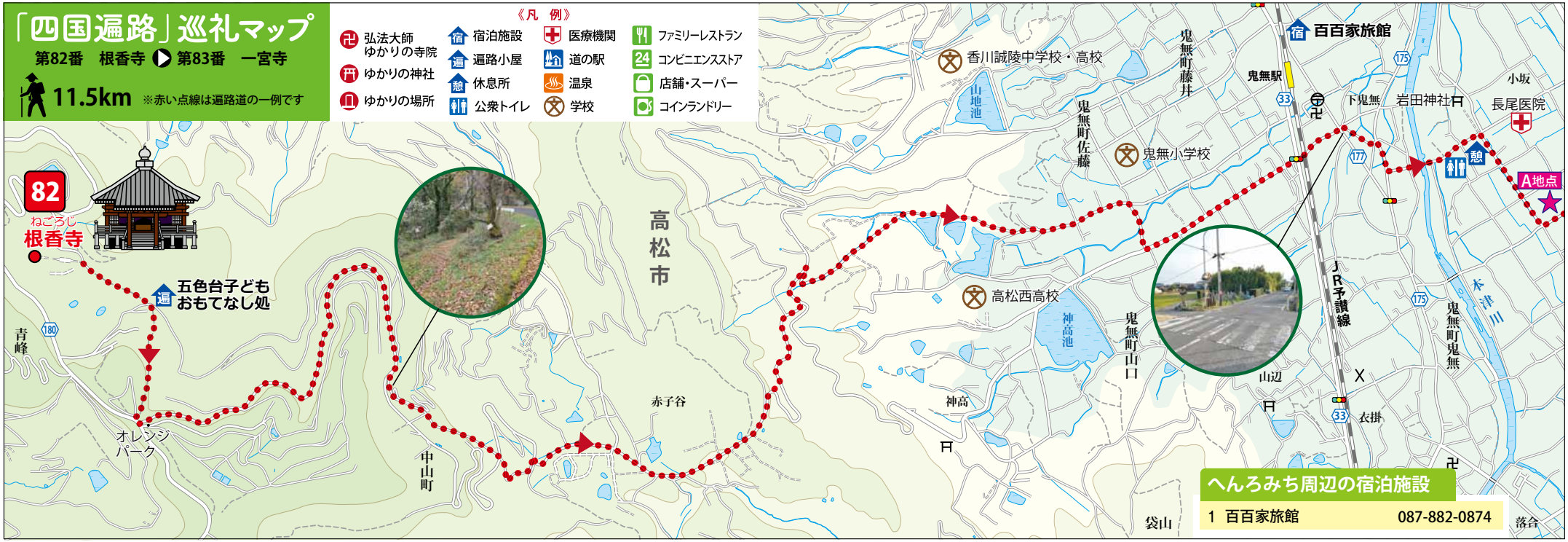
「四国遍路」巡礼マップ

第82番　根香寺 ▶ 第83番　一宮寺

11.5km　※赤い点線は遍路道の一例です

《凡　例》

- 弘法大師ゆかりの寺院
- ゆかりの神社
- ゆかりの場所
- 宿泊施設
- 遍路小屋
- 休息所
- 公衆トイレ
- 医療機関
- 道の駅
- 温泉
- 学校
- ファミリーレストラン
- コンビニエンスストア
- 店舗・スーパー
- コインランドリー



へんろみち周辺の宿泊施設

1	百百家旅館	087-882-0874

「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地図情報)及び数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地名情報)を使用した。（承認番号　平28情使、第1132号）」

各札所のマップはホームページでもご覧いただけます www.seichijunrei-shikokuhenro.jp

第83番 一宮寺
●香川県高松市一宮町607
☎087-885-2301
●宿坊／なし

第84番 屋島寺
●香川県高松市屋島東町1808
☎087-841-9418
●宿坊／なし

沿線の見どころ

特別名勝 栗林公園

紫雲山を背景に、その東麓に広がる回遊式大名庭園で、国指定の特別名勝。借景も含めると東京ドーム約16個分もの広さを誇り、6つの池と13の築山を中心に構成されており、歩を進めるごとに景色が変わりゆく「一歩一景の美」が楽しめる名園。国内はもとより、海外からも高い評価を得ている。

所 香川県高松市栗林町1-20-16
☎ 087･833･7411
営 7:00～17:00（季節に応じて毎月変更）
休 無休
料 大人410円

沿線の見どころ

玉藻公園

水戸光圀の兄、松平頼重を藩主に迎えてから11代に渡り松平藩の居城だった高松城跡を中心とした史跡公園。日本三大水城の一つで、堀には海水が引き込まれている。月見櫓など城の7棟が国の重要文化財指定。また披雲閣は藩主が生活する場所として建てられ、現在の姿は大正時代に12代当主頼寿伯爵が再建したもので、これも国の重要文化財。

所 香川県高松市玉藻町2-1
☎ 087･851･1521
営 西門日の出～日没、東門8:30～17:00
休 12/29～12/31
料 大人200円

境内の見どころ

薬師如来祠

クスノキの根元にある薬師如来の小さな祠。この台座の下からは「地獄の釜」の音が聞こえ、心がけの悪い人が頭を突っ込むと石の扉が閉まり、抜けなくなるという伝説がある。江戸時代、近くに住む意地の悪いおタネばあさんは頭が抜けなくなり、これまでの行いを反省するとようやく扉が開いたという。

文化庁
JAPAN HERITAGE
日本遺産

日本遺産「四国遍路」～回遊型巡礼路と独自の巡礼文化～

弘法大師空海ゆかりの札所を巡る四国遍路は、阿波・土佐・伊予・讃岐の四国を全周する全長1400キロにも及ぶ我が国を代表する壮大な回遊型巡礼路であり、札所への巡礼が1200年を超えて継承され、今なお人々により継続的に行われている。四国の険しい山道や長い石段、のどかな田園地帯、波静かな海辺や最果ての岬を「お遍路さん」が行き交う風景は、四国路の風物詩となっている。キリスト教やイスラム教などに見られる「往復型」の聖地巡礼とは異なり、国籍や宗教・宗派を超えて誰もがお遍路さんとなり、地域住民の温かい「お接待」を受けながら、供養や修行のため、救いや癒しなどを求めて弘法大師の足跡を辿る四国遍路は、自分と向き合う「心の旅」であり、世界でも類を見ない巡礼文化である。

文化庁日本遺産魅力発信推進事業／発行：四国遍路日本遺産協議会／制作：（株）エス・ピー・シー

こころをつなげて四国はひとつ　四国遍路を世界遺産に

2017年3月作成

住宅街に溶け込み、こぢんまりとした境内は閑静そのもの

第83番 神毫山 大宝院 一宮寺

しんごうざん　たいほういん　いちのみやじ

田村神社と隣り合う閑静な霊場

歴史・全体像

寺の歴史は古く、飛鳥時代の大宝年間に義淵僧正が創建したといわれている。当初は「大宝院」と称した法相宗の寺であった。諸国に一宮が建立された際、行基が堂宇を修築、讃岐国一宮・田村神社の別当寺となり、寺号を一宮寺と改めた。後に弘法大師が滞在し、聖観音像を刻んで本尊として安置。この時、真言宗に改宗した。戦国時代の兵火による焼失を経て、僧の宥勢が再興。延宝7年（1679）には、高松藩主松平頼重が田村神社と神仏分離させ、明治の神仏分離令よりも200年前に独立寺院となった。境内は田村神社と隣接しており、仁王門は路地を挟んで田村神社と隣り合っている。

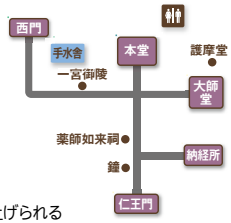
境　内

寺は高松市郊外の閑静な住宅街の真ん中にある。仁王門の真向かいには檀信徒によって再建された本堂があり、右側に大師堂、その隣に平成18年（2006）に落慶した木造宝形造りの美しい護摩堂が建つ。その前にある石灯籠は、京の名工・西村金造の作。本尊の聖観音像は弘法大師の手によるものといわれている。大師堂の天井には先祖供養の灯籠がずらりと吊るされており、思わず目を奪われる。

本堂手前の参道脇にそびえる大きな楠の下にはベンチも置かれ、地元の人たちが参拝がてら集う場としても親しまれている。

御詠歌／さぬき一宮の御前に仰ぎきて神の心をたれかしらいう
本尊／聖観世音菩薩
真言／おん あろりきゃ そわか
宗派／真言宗御室派
開基／義淵僧正

本堂の木戸には千羽鶴。2年に1度、焚き上げられる



歩き遍路のための「四国遍路」巡礼マップ
第83番 一宮寺 ▼ 第84番 屋島寺

JAPAN HERITAGE
日本遺産

縮尺＝1:30,000　0　1000m

〈信号 警察署 交番 消防署 郵便局 神社 寺院〉

A地点　B地点

特別名勝 栗林公園

栗林駅　栗林公園駅　栗林小学校　高松平和病院　フジ　マルヨシ　琴平電鉄長尾線　りつりん病院　高松第一高校　桜町中学校　大手前高松高・中学校　紫雲山　奥の池　マルナカ　前田病院　三条駅　高松気象台　大西病院　ゆめタウン高松　鶴尾中学校　鶴尾小学校　野田池　太田小学校　中央小学校　高松自動車学校　高松自動車道　至、高松道紙I.C　至、高松中央I.C　沖ノ池　太田下町　太田中学校　太田南小学校　琴平電鉄琴平線　太田駅　赤松内科　香川大附属高松中学校　太田池　高松市　一宮中学校　一宮小学校　そがべ外科・整形外科

84 やしまじ 屋島寺　くわずのなし 不喰梨　かがじすい 加持水　屋島寺　屋島西小学校　屋島総合病院　マルヨシ　マルナカ　滑元駅　パワーシティ　百石病院　古高松中学校　春日川駅　琴平電鉄志度線　春日佐々木医院　湯楽温泉　木太町駅　JR高徳線　木太北部小学校　高松市　沖松島駅　松島二丁目駅　高松第一中学校　高松商業高校　高松中央高校　今橋駅　県立中央病院　高松港　フェリー乗場　高松港駅　玉藻公園　高松駅　高松市役所　瓦町駅　片原町駅　花園駅　花園小学校　伊達病院　斉藤病院　栗林駅　栗林公園駅　フジ　マルヨシ　琴平電鉄長尾線　玉藻中学校　古高松中学校

この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地図情報)及び数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地名情報)を使用した。(承認番号　平28情使、第132号)

へんろみち周辺の宿泊施設の案内

※当エリアは宿泊施設多数あり

1 香川県ホテル旅館生活衛生同業組合　087-851-2661

「四国遍路」巡礼マップ

第83番　一宮寺 ▶ 第84番　屋島寺

14.1km　※赤い点線は遍路道の一例です

《凡 例》

- 弘法大師ゆかりの寺院
- ゆかりの神社
- ゆかりの場所
- ファミリーレストラン
- コンビニエンスストア
- 宿泊施設
- 遍路小屋
- 休息所
- 店舗・スーパー
- コインランドリー
- 公衆トイレ
- 医療機関
- 道の駅
- 温泉
- 学校

83 いちのみやじ 一宮寺

第84番 屋島寺
●香川県高松市屋島東町1808
☎087-841-9418
●宿坊／なし

第85番 八栗寺
●香川県高松市牟礼町牟礼3416
☎087-845-9603
●宿坊／なし

沿線の見どころ

四国村
（四国民家博物館・四国村ギャラリー）

四国各地から移築復元された古民家など、国や県などから指定された重要文化財を含む33棟の建造物を巡る野外博物館。屋島山麓の豊かな自然と花々に囲まれて、四季を感じながら先人たちの知恵と工夫にあふれた暮らしを感じることができる。ミニかずら橋や安藤忠雄氏設計のギャラリーも人気。

所 香川県高松市屋島中町91
☎ 087・843・3111
営 8:30～17:00（11～3月は～16:30）
休 無休（メンテナンスのための臨時休業あり）
料 大人1,000円

沿線の見どころ

栗山記念館

寛政の大儒、紫野栗山の功績を伝える記念館。1階展示室には、栗山の遺品や直筆の書簡などを保管。2階ホール奥には栗山の尊像を安置。こちらで入手できる「紫野栗山秘帳」には、「学神」とまでいわれた栗山の進学三喩を綴った巻物が入っている。受験シーズンともなると、多くの若者たちが訪れる。

所 香川県高松市牟礼町牟礼3028
☎ 087・845・5996
営 10:00～16:00
休 月曜、祝日の翌日
（連休の休館日は要問合せ）
料 大人200円

境内の見どころ

蓑山大明神（みのやまだいみょうじん）

日本三大タヌキの一つ「太三郎狸」を祀る神社。太三郎狸は変化の術では日本一と称され、弘法大師が屋島の麓で道に迷った時に、蓑をかぶった老人に変化して大師を山頂まで導いたといわれる。また、太三郎狸は一夫一妻の契りもかたいとされ、夫婦円満、縁結び、子宝、水商売の神としても信仰を集める。

文化庁
JAPAN HERITAGE
日本遺産

日本遺産「四国遍路」～回遊型巡礼路と独自の巡礼文化～

弘法大師空海ゆかりの札所を巡る四国遍路は、阿波・土佐・伊予・讃岐の四国を全周する全長1400キロにも及ぶ我が国を代表する壮大な回遊型巡礼路であり、札所への巡礼が1200年を超えて継承され、今なお人々により継続的に行われている。四国の険しい山道や長い石段、のどかな田園地帯、波静かな海辺や最果ての岬を「お遍路さん」が行き交う風景は、四国路の風物詩となっている。キリスト教やイスラム教などに見られる「往復型」の聖地巡礼とは異なり、国籍や宗教・宗派を超えて誰もがお遍路さんとなり、地域住民の温かい「お接待」を受けながら、供養や修行のため、救いや癒しなどを求めて弘法大師の足跡を辿る四国遍路は、自分と向き合う「心の旅」であり、世界でも類を見ない巡礼文化である。

文化庁日本遺産魅力発信推進事業／発行：四国遍路日本遺産協議会／制作：（株）エス・ピー・シー

こころをつなげて四国はひとつ　四国遍路を世界遺産に

2017年3月作成

観光地・屋島の山上にあるため、観光客の参拝も多い

第84番 南面山千光院 屋島寺
なんめんざん　せんこういん　やしまじ

源平合戦に縁深い屋島山上の寺

歴史・全体像

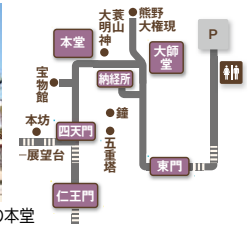
日本に仏法の戒律を伝えるために来日した唐の名僧・鑑真和上が天平勝宝5年（753）に屋島山上北嶺に瑞光を見て、仏像やお経を納めて開基したのが始まり。堂宇を建てた弟子の恵雲律師が初代住職となる。その後に弘法大師が嵯峨天皇の勅願により南嶺に伽藍を建立して84番目の霊場として定め、屋島寺中興の祖と仰がれた。登山はJR屋島駅・ことでん屋島駅と屋島山上を往復するシャトルバス（100円均一）がある。遍路みちの登山道から上る場合は、途中で「大師お加持水」「喰わずの梨」など、大師ゆかりの霊蹟を見ることができる。

境　内

標高約300mの屋島山上にある屋島寺。仁王門をくぐって阿波蜂須賀家寄進の四天門を通り抜けると、その奥に鎌倉時代後期に建てられた本堂がある。瓦葺きに朱塗りの柱が特徴的なこの本堂は、昭和32年（1957）から2年間をかけて修理されたものである。本尊の十一面千手観世音菩薩、平家供養の鐘と共に国の重要文化財に指定されている。本尊は10世紀頃、藤原期初期に造られたもので、全身に漆を塗って金箔をおいた榧（かや）の一木造りである。光背と御手が当初のままに残されている貴重なものだ。宝物館で拝観することができる。

御詠歌／梓弓屋島の宮に詣でつつ
祈りをかけて勇む武夫（もののふ）
本尊／十一面千手観世音菩薩
真言／おん ばざら たらま きりく
宗派／真言宗御室派
開基／鑑真和上

鎌倉時代後期の姿が復元された朱塗りの本堂



歩き遍路のための「四国遍路」巡礼マップ
第84番 屋島寺 ▼ 第85番 八栗寺

JAPAN HERITAGE
日本遺産

各札所のマップはホームページでもご覧いただけます www.seichijunrei-shikokuhenro.jp

第85番 八栗寺
●香川県高松市牟礼町牟礼3416
☎087-845-9603
●宿坊／なし

第86番 志度寺
●香川県さぬき市志度1102
☎087-894-0086
●宿坊／なし

沿線の見どころ

高松市石の民俗資料館

高松市牟礼町・庵治町は、良質なことで知られる庵治石の産地である。この資料館では、石工が使っていた用具の展示、仕事場の様子や大正から昭和にかけての石切り場の風景などの再現により、石工達の知恵と技術、優れた技能に触れることができる。周辺には「石匠の里公園」があり、芝生広場に点在する石の彫刻が、訪れる人々を楽しませる。

所 香川県高松市牟礼町牟礼1810
☎ 087-845-8484
営 9:00～17:00
（展示室への入室は16:30まで）
休 月曜（祝日の場合は翌平日）
料 大人200円

境内の見どころ

中将坊堂

天狗の中将坊を祀ったお堂で、本堂横の石段を数十段上ったところに建てられている。天狗は修験者の象徴でもあり、五剣山が古くから山岳修験の行場であった名残を今に伝えている。五剣山の山中には、弘法大師作といわれる岩壁に彫られた磨崖仏（まがいぶつ）も残っているが、入山禁止であるため見学はできない。

境内の見どころ

聖天堂

木食以空上人が後水尾天皇の皇后・東福門院より賜ったとされる、弘法大師作の歓喜天が本尊。日本最古ともいわれ、50年に一度しか開帳されない秘仏だ。歓喜天信仰は弘法大師が唐より持ち帰ったといわれ、商売繁盛、良縁成就、学業成就のご利益を求めて、多くの参拝者が訪れる。境内に見られる巾着と大根はそのご利益を表している。

日本遺産「四国遍路」～回遊型巡礼路と独自の巡礼文化～

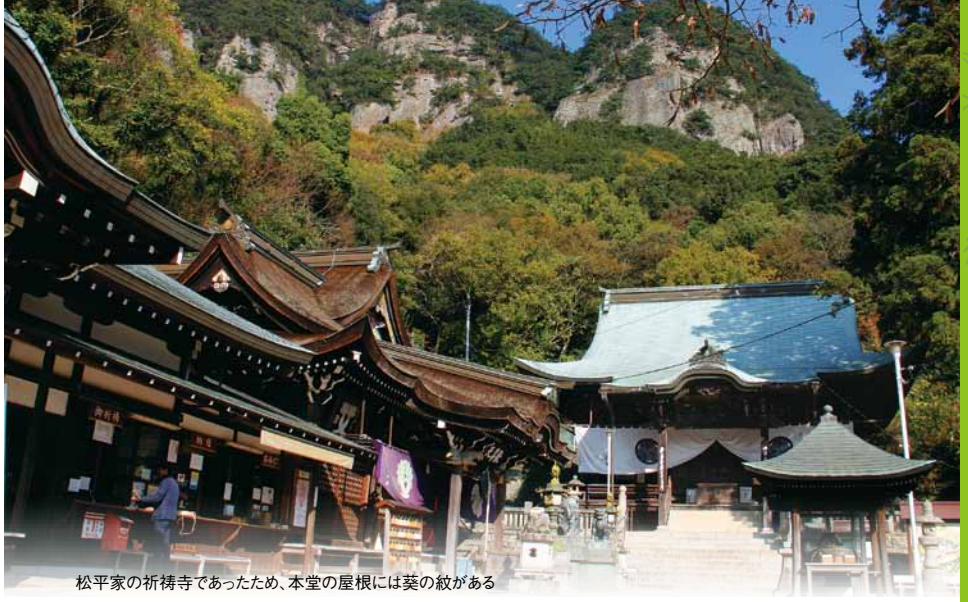
弘法大師空海ゆかりの札所を巡る四国遍路は、阿波・土佐・伊予・讃岐の四国を全周する全長1400キロにも及ぶ我が国を代表する壮大な回遊型巡礼路であり、札所への巡礼が1200年を超えて継承され、今なお人々により継続的に行われている。四国の険しい山道や長い石段、のどかな田園地帯、波静かな海辺や最果ての岬を「お遍路さん」が行き交う風景は、四国路の風物詩となっている。キリスト教やイスラム教などに見られる「往復型」の聖地巡礼とは異なり、国籍や宗教・宗派を超えて誰もがお遍路さんとなり、地域住民の温かい「お接待」を受けながら、供養や修行のため、救いや癒しなどを求めて弘法大師の足跡を辿る四国遍路は、自分と向き合う「心の旅」であり、世界でも類を見ない巡礼文化である。

文化庁日本遺産魅力発信推進事業／発行：四国遍路日本遺産協議会／制作：（株）エス・ピー・シー

文化庁
JAPAN HERITAGE
日本遺産

こころをつなげて四国はひとつ　四国遍路を世界遺産に

2017年3月作成



松平家の祈祷寺であったため、本堂の屋根には葵の紋がある

第85番 五剣山 観自在院 八栗寺

ごけんざん　かんじざいいん　やくりじ

皆が親しむ「八栗のお聖天さん」

歴史・全体像

創建は天長6年（829）、開基は弘法大師。大師がこの山に登り求聞持法を修した際、天より5本の剣が降ってくると共に山の鎮守である蔵王権現の神託を得た。そこで5本の剣を埋めて鎮護としたのが五剣山の名の由来。また、入唐前に8つの焼き栗を埋めて入唐求法の成否を占った。帰国後再び訪れると、焼き栗全てが生長繁茂していたので、寺の名を八国寺から八栗寺に改めた。

以後、山岳修験の場としても栄えるが、天正の兵火に遭って焼失。文禄年間（1592～1596）に無辺上人が再興に尽力し、本堂を再建。江戸時代に入り、高松藩主松平頼重・頼豊が諸堂を再建し、松平家祈祷寺と定めた。

境　内

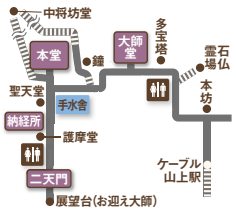
標高375mの五剣山は、地上から剣を突き上げたような形状。八栗ケーブル山上駅から境内へと続く参道を進み、石仏霊場に続く階段を越えれば、朱塗りの鮮やかな多宝塔と共に大師堂が見える。

さらに参道を進むと、正面に聖天堂、右側に葵紋の幕がかかる本堂が建つ。本堂脇の石段は中将坊堂に続き、山岳修験の行場であった名残を留める。また、表参道を上り、二天門から眺める五剣山の景色は圧巻である。

この寺は八十八ヶ所では珍しい歓喜天の霊場としても有名。聖天堂に祀られた歓喜天は霊験あらたかで「八栗のお聖天さん」と呼ばれ信仰されている。

御詠歌／煩悩を胸の智火にて八栗をば修行者ならで誰か知るべき
本尊／聖観世音菩薩
真言／おん あろりきゃ そわか
宗派／真言宗大覚寺派
開基／弘法大師

大師堂横に十二支の仏像が祀られている



歩き遍路のための「四国遍路」巡礼マップ

第85番 八栗寺 ▼ 第86番 志度寺

JAPAN HERITAGE
日本遺産

「四国遍路」巡礼マップ

第85番　八栗寺 ▶ 第86番　志度寺

6.5km　※赤い点線は遍路道の一例です

《凡　例》

- 弘法大師 ゆかりの寺院
- ゆかりの神社
- ゆかりの場所
- ファミリーレストラン
- コンビニエンスストア
- 宿泊施設
- 遍路小屋
- 休息所
- 店舗・スーパー
- コインランドリー
- 公衆トイレ
- 医療機関
- 道の駅
- 温泉
- 学校

へんろみち周辺の宿泊施設

1	岡田屋旅館	087-845-1594
2	たいや旅館	087-894-0038
3	冨士屋旅館	087-894-1175
4	栄　荘	087-894-0029
5	いしや旅館	087-894-0021

各札所のマップはホームページでもご覧いただけます www.seichijunrei-shikokuhenro.jp

第86番 志度寺
●香川県さぬき市志度1102
☎087-894-0086
●宿坊／なし

第87番 長尾寺
●香川県さぬき市長尾西653
☎0879-52-2041
●宿坊／なし

沿線の見どころ

平賀源内記念館

志度出身の奇才・平賀源内の業績を紹介する記念館。エレキテルをはじめとする発明品や書簡、著書などの展示コーナー、映像や体験コーナーがあり、源内ワールドにひたることができる。西へ550mほど行ったところには源内の生家「旧邸」があり、一角には源内の銅像、ゆかりの薬草園、源内焼工房などが併設されている。

所 香川県さぬき市志度587-1
☎ 087・894・1684
営 9:00～17:00
休 月曜（祝日の場合は翌日）
料 大人500円

沿線の見どころ

自性院

自性院は志度寺の塔頭。正門に入る前の右側に江戸時代に活躍した発明家・平賀源内の墓所があることから、志度寺を訪れたお遍路さんが多く立ち寄る。源内は安永8年（1779）、52歳で獄死し、この地に葬られている。また、この寺は「さぬき良寛さん」と呼ばれた名僧・竹林上人が第七代住職を務めたことでも有名。

所 香川県さぬき市志度1105
☎ 087・894・0324

境内の見どころ

無染庭（むぜんてい）・曲水式庭園

書院南の「無染庭」は、7つの石と白砂で海女の玉取り伝説を表現した枯山水の庭。3000坪もの広さがある「曲水式庭園」は、室町時代の四国管領細川氏が代々寄進して作庭させたもので、京都龍安寺の枯山水石庭も手がけた細川勝元の手によって完成された。庭園の一角には「お辻の井戸」がある。

文化庁
JAPAN HERITAGE
日本遺産

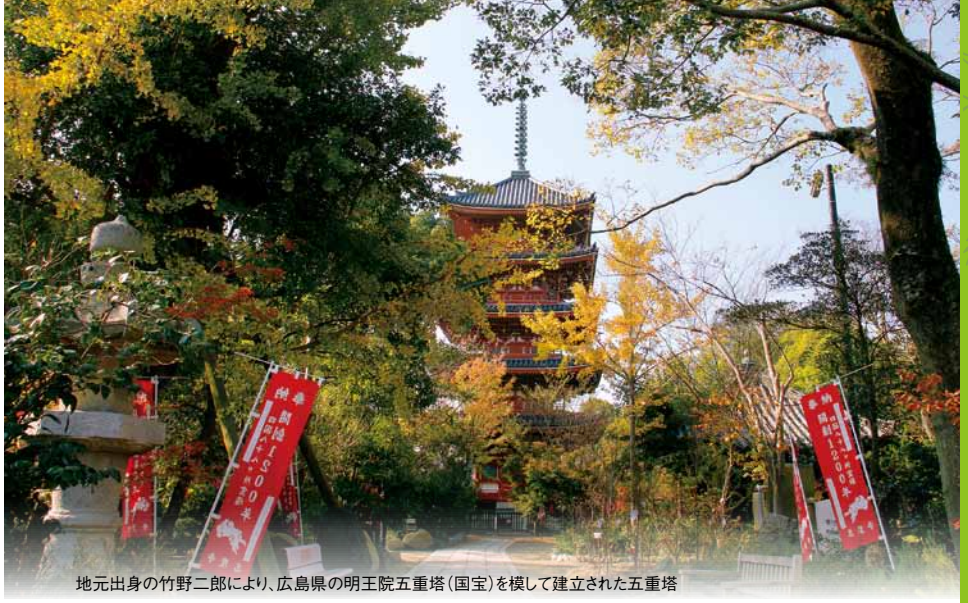
日本遺産「四国遍路」～回遊型巡礼路と独自の巡礼文化～

弘法大師空海ゆかりの札所を巡る四国遍路は、阿波・土佐・伊予・讃岐の四国を全周する全長1400キロにも及ぶ我が国を代表する壮大な回遊型巡礼路であり、札所への巡礼が1200年を超えて継承され、今なお人々により継続的に行われている。四国の険しい山道や長い石段、のどかな田園地帯、波静かな海辺や最果ての岬を「お遍路さん」が行き交う風景は、四国路の風物詩となっている。キリスト教やイスラム教などに見られる「往復型」の聖地巡礼とは異なり、国籍や宗教・宗派を超えて誰もがお遍路さんとなり、地域住民の温かい「お接待」を受けながら、供養や修行のため、救いや癒しなどを求めて弘法大師の足跡を辿る四国遍路は、自分と向き合う「心の旅」であり、世界でも類を見ない巡礼文化である。

文化庁日本遺産魅力発信推進事業／発行：四国遍路日本遺産協議会／制作：（株）エス・ピー・シー

こころをつなげて四国はひとつ　四国遍路を世界遺産に

2017年3月作成



地元出身の竹野二郎により、広島県の明王院五重塔（国宝）を模して建立された五重塔

第86番 補陀洛山 清浄光院 志度寺

ふだらくさん　せいじょうこういん　しどじ

命の再生を願う閻魔信仰の寺

歴史・全体像

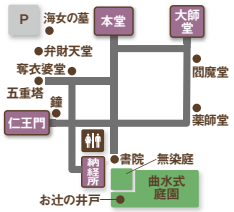
国の重要文化財「志度寺縁起絵図六巻」によれば、推古33年（625）、蔵子という尼が霊木を仏師に彫らせ、閻魔が建てたお堂に本尊として安置した。そこに天武10年（681）、藤原不比等が妻のためにお堂を整備し、「志度道場」と名付けたのが始まりとされる。その後、持統7年（693）に不比等の息子房前（ふささき）が行基と共に堂宇を拡張、寺は僧侶の学問所や信者の修行の場となった。また、房前は父母の慈愛に感謝して、千基の石塔群も造立しており、一部が海女の墓として残されている。江戸時代には、志度出身の平賀源内を長崎に遊学させるため、当時の住職が尽力したことでも知られる。

境　内

運慶作とされる仁王像を納め、日本有数と称えられる見事な仁王門は、高松藩主松平頼重が、寛文10年（1670）に寄進したもの。門を抜けると、歴史ある境内が広がる。左手には五重塔がそびえ、庫裡、書院が並ぶ。参道を左に曲がると、本尊と共に重要文化財に指定されている本堂があり、そばに大師堂、閻魔堂、薬師堂へと続く。閻魔堂には「志度寺縁起」に描かれている閻魔が祀られている。一度あの世に行った人が閻魔の命によって蘇生する物語は、今も人々を惹きつけてやまない。他にも曲水式庭園、歌舞伎や浄瑠璃にもなった「お辻の井戸」など、見どころは多い。

御詠歌／いざさらば今宵はここに志度の寺祈りの声を耳にふれつつ
本尊／十一面観世音菩薩
真言／おん まか きゃろにきゃ そわか
宗派／真言宗善通寺派
開基／藤原不比等

本堂、仁王門ともに松平頼重が寄進



歩き遍路のための「四国遍路」巡礼マップ

第86番 志度寺 ▼ 第87番 長尾寺

JAPAN HERITAGE
日本遺産

「四国遍路」巡礼マップ

第86番　志度寺 ▶ 第87番　長尾寺

7.0km　※赤い点線は遍路道の一例です

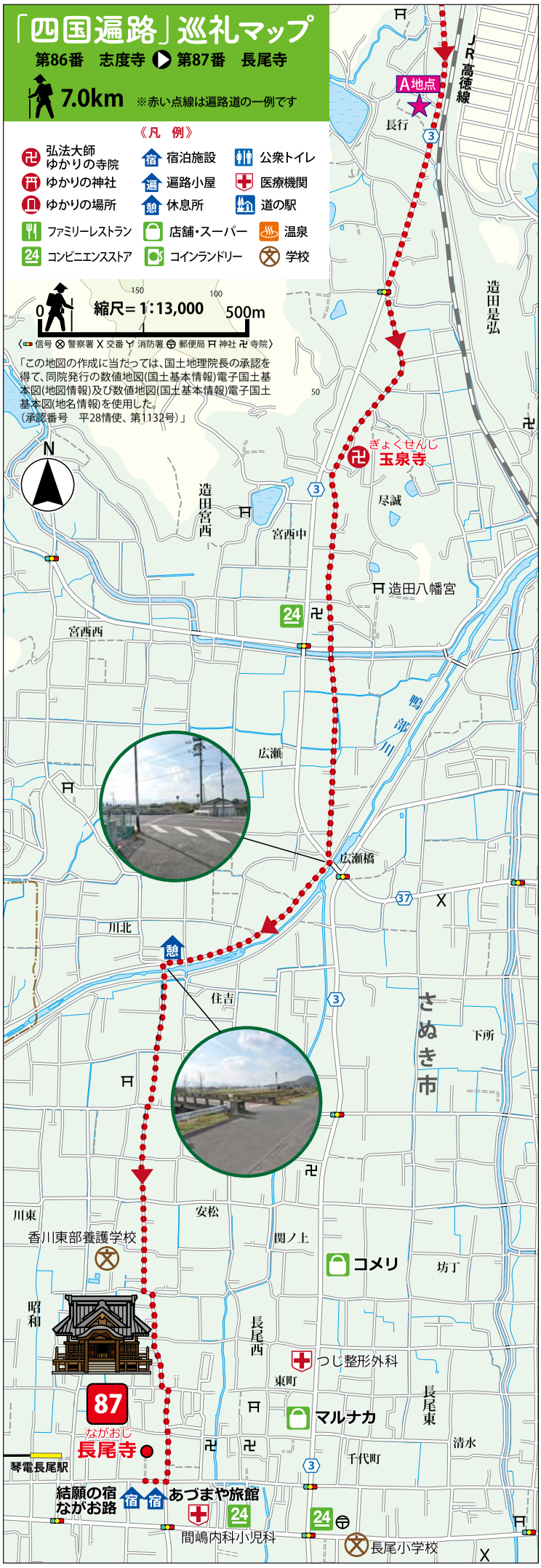
《凡　例》

- 弘法大師ゆかりの寺院
- ゆかりの神社
- ゆかりの場所
- ファミリーレストラン
- コンビニエンスストア
- 宿泊施設
- 遍路小屋
- 休息所
- 店舗・スーパー
- コインランドリー
- 公衆トイレ
- 医療機関
- 道の駅
- 温泉
- 学校

縮尺＝1:13,000　0　500m

〈信号 ⊗ 警察署 X 交番 Y 消防署 ⊕ 郵便局 ⛩ 神社 卍 寺院〉

「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地図情報)及び数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地名情報)を使用した。
(承認番号　平28情使、第1132号)」



へんろみち周辺の宿泊施設

1	いしや旅館	087-894-0021
2	冨士屋旅館	087-894-1175
3	たいや旅館	087-894-0038
4	栄　荘	087-894-0029
5	結願の宿 ながお路	0879-52-3084
6	あづまや旅館	0879-52-2415

各札所のマップはホームページでもご覧いただけます www.seichijunrei-shikokuhenro.jp

第87番 長尾寺
●香川県さぬき市長尾西653
☎0879-52-2041
●宿坊／なし

第88番 大窪寺
●香川県さぬき市多和兼割96
☎0879-56-2278
●宿坊／なし

沿線の見どころ

ツインパルながお

天然温泉とトレーニングルーム、アリーナが一体となった健康施設。温泉は和風と洋風の露天風呂、ジェットバス、寝湯、サウナを完備。泉質は単純弱放射能冷鉱泉。流水プール、子ども用プール、ジャグジープールなどの温水プールは7・8月のみ営業。小さな子どもから大人まで楽しめる。

所 香川県さぬき市長尾名1494-1
☎ 0879-52-1126
営 施設により異なる
休 水曜（祝日の場合は翌日）
料 入浴のみ大人610円、
入浴とプール大人1,020円

沿線の見どころ

前山おへんろ交流サロン

長尾寺と大窪寺との中間に位置する、おへんろ文化を伝える施設。建物の中にはお茶のサービスなどがある休憩コーナーも設置されており、展示されている貴重な資料を見学したあとは、旅の疲れを癒やすこともできる。おへんろ交流サロンを起点として大窪寺まで歩いて行ける「へんろ道マップ」も作成されている。

所 香川県さぬき市前山936
☎ 0879-52-0208
営 8:00～16:00
休 12/31、1/1

境内の見どころ

経幢

経幢とは写経を埋めた上に立てるもので、仁王門前に左右一対で立っている。東側のものには「弘安九年五月」、西側には「弘安六年七月」の銘があり、元寇出征将兵の霊を慰めるためにたてられたものとされている。鎌倉時代より栄えた名刹の歴史を物語る貴重なもので、重要文化財に指定されている。

文化庁
JAPAN HERITAGE
日本遺産

日本遺産「四国遍路」～回遊型巡礼路と独自の巡礼文化～

弘法大師空海ゆかりの札所を巡る四国遍路は、阿波・土佐・伊予・讃岐の四国を全周する全長1400キロにも及ぶ我が国を代表する壮大な回遊型巡礼路であり、札所への巡礼が1200年を超えて継承され、今なお人々により継続的に行われている。四国の険しい山道や長い石段、のどかな田園地帯、波静かな海辺や最果ての岬を「お遍路さん」が行き交う風景は、四国路の風物詩となっている。キリスト教やイスラム教などに見られる「往復型」の聖地巡礼とは異なり、国籍や宗教・宗派を超えて誰もがお遍路さんとなり、地域住民の温かい「お接待」を受けながら、供養や修行のため、救いや癒しなどを求めて弘法大師の足跡を辿る四国遍路は、自分と向き合う「心の旅」であり、世界でも類を見ない巡礼文化である。

文化庁日本遺産魅力発信推進事業／発行：四国遍路日本遺産協議会／制作：（株）エス・ピー・シー

こころをつなげて四国はひとつ　四国遍路を世界遺産に

2017年3月作成

境内は地域交流の場にもなっており、行事で賑わう

第87番 補陀洛山 観音院 長尾寺

ふだらくさん　かんのんいん　ながおじ

静御前をまつる「お観音さん」

歴史・全体像

天平11年（739）、この地を訪れた行基が柳の木で聖観音像を彫り、安置したのが始まりとされる。大同年間（806～810）、入唐にあたって弘法大師が訪れ、年頭七夜の護摩祈祷を行った。帰国後、入唐の大願成就を感謝した大師は、大日経一字一石の供養塔を建て、堂宇を建立した。その後、寺運は栄えるも、戦乱により諸堂を焼失。慶長年間（1596～1615）、讃岐国守の生駒一正によって再興された。さらに後には高松藩主松平頼重により庇護され、松平家の祈願寺となる。源義経の側室である静御前が得度した寺との言い伝えもあり、長尾寺には静（宥心尼）の位牌が残っている。

境　内

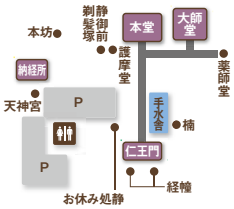
仁王門前に左右一対で建っている経幢（きょうどう）の間を通り、門を抜けると、参道横に香川の保存木である楠がそびえ立つ。正面には平成19年（2007）11月に屋根瓦を葺き替えられた本堂が建ち、向かって右側に大師堂、左側に護摩堂が配置されている。

本尊は聖観世音菩薩。度重なる戦乱や火災にも不思議に残ることから、松平頼重に「当国七観音随一」と指定され、秘仏として祀られている。

長尾の商店街にも近く、町の人からは「お観音さん」と親しまれており、境内は地域のコミュニティの場としても利用されている。

御詠歌／あしびきの山鳥の尾の長尾寺秋の夜すがらみ名をとなえよ
本尊／聖観世音菩薩
真言／おん あろりきゃ そわか
宗派／天台宗
開基／行基菩薩

松平頼重建立の本堂は葵紋入り丸瓦



歩き遍路のための「四国遍路」巡礼マップ

第87番 長尾寺 ▼ 第88番 大窪寺

JAPAN HERITAGE
日本遺産

「四国遍路」巡礼マップ

第87番　長尾寺 ▶ 第88番　大窪寺

12.3km　※赤い点線は遍路道の一例です

《凡　例》

- 弘法大師ゆかりの寺院
- ゆかりの神社
- ゆかりの場所
- ファミリーレストラン
- コンビニエンスストア
- 宿泊施設
- 遍路小屋
- 休息所
- 店舗・スーパー
- コインランドリー
- 公衆トイレ
- 医療機関
- 道の駅
- 温泉
- 学校

縮尺＝1:27,000　1000m

〈信号 警察署 交番 消防署 郵便局 神社 寺院〉

「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地図情報)及び数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地名情報)を使用した。（承認番号　平28情使、第1132号）」

A地点　一心寺　石神神社　石神池　二股池　大石　鴨部川

三木町　左直谷　前山ダム　前山ダム湖　前山小学校　前山おへんろ交流サロン　道の駅ながお　星越　来栖　来栖神社　前山　中津　葛野　大多和　多和神社　（山門へ）　（境内へ）

さぬき市　東かがわ市　讃波　長尾谷　女体山　女体山（標高 774m）　太郎兵衛館　たいぞうみね 胎蔵峰　四国のみち　矢筈山（標高 787m）

88　おおくぼじ　大窪寺（標高 445m）　八十窪

相草公民館　多和相草東　多和相草上　多和相草西　多和額北　多和額西　多和額東　細川家住宅（国指定重要文化財）　多和西浦山　多和助光西　多和助光東　結願の里 天体望遠鏡博物館　護摩神社　護摩山　多和経座西　多和経座東　多和力石上　多和力石　多和東谷　多和竹屋敷　多和横川　多和兼割　多和菅谷　野田屋 竹屋敷

徳島県 市場町

へんろみち周辺の宿泊施設

1	結願の宿 ながお路	0879-52-3084
2	あづまや旅館	0879-52-2415
3	野田屋 竹屋敷	0879-56-2288
4	八十窪	0879-56-2031

各札所のマップはホームページでもご覧いただけます www.seichijunrei-shikokuhenro.jp

第88番 大窪寺
●香川県さぬき市多和兼割96
☎0879-56-2278
●宿坊／なし

第1番 霊山寺
●徳島県鳴門市大麻町坂東字塚鼻126
☎088-689-1111
●宿坊／なし

沿線の見どころ

細川家住宅

18世紀初期の民家の姿を今に伝える典型的な農家建築。母屋の柱は栗材をチョウナで削り多角形に仕上げており、ほかの軸部は松材。屋根は茅葺きで、下まで葺き降ろした「ツクダレ葺き」という形式で造られている。客の接待、家族の団らん、食事などに使われた土座は現在の居間にあたり、囲炉裏を中心に座をしつらえている。国の重要文化財指定。

所 香川県さぬき市多和額東46
（88番大窪寺から国道377号線経由西に6km）
☎ 0879-42-3107
（さぬき市教育委員会生涯学習課）
営 9:00～16:30
休 月曜
料 無料

境内の見どころ

種田山頭火句碑

本堂の横の阿弥陀堂前に佇む、漂泊の歌人・種田山頭火の句碑。当寺で詠まれた「ここが打留の水があふれてゐる」の句が刻まれている。山頭火はこの他にも長尾近郊で多くの句を詠んだという。周辺エリアには「夜が長い谷の瀬音のとほくもちかくも」など、多くの句碑が建てられている。

境内の見どころ

寶杖堂

結願所となる大窪寺には、88の霊場を無事に巡り終えたことの証としてお遍路さんが奉納した金剛杖や菅笠が大量に保管されている。大師堂横には、金剛杖を納める「寶杖堂」が建立されており、これら奉納品の数々は、毎年春分の日と山の日に催される柴燈護摩供で、山伏修験者によって焚き上げられる。

日本遺産「四国遍路」～回遊型巡礼路と独自の巡礼文化～

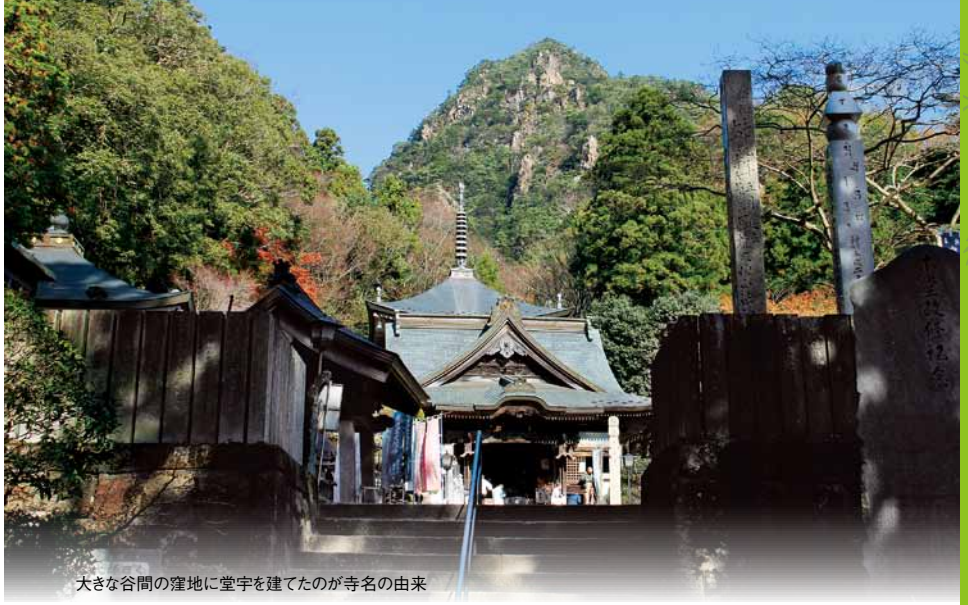
弘法大師空海ゆかりの札所を巡る四国遍路は、阿波・土佐・伊予・讃岐の四国を全周する全長1400キロにも及ぶ我が国を代表する壮大な回遊型巡礼路であり、札所への巡礼が1200年を超えて継承され、今なお人々により継続的に行われている。四国の険しい山道や長い石段、のどかな田園地帯、波静かな海辺や最果ての岬を「お遍路さん」が行き交う風景は、四国路の風物詩となっている。キリスト教やイスラム教などに見られる「往復型」の聖地巡礼とは異なり、国籍や宗教・宗派を超えて誰もがお遍路さんとなり、地域住民の温かい「お接待」を受けながら、供養や修行のため、救いや癒しなどを求めて弘法大師の足跡を辿る四国遍路は、自分と向き合う「心の旅」であり、世界でも類を見ない巡礼文化である。

文化庁日本遺産魅力発信推進事業／発行：四国遍路日本遺産協議会／制作：(株)エス・ピー・シー

文化庁
JAPAN HERITAGE
日本遺産

こころをつなげて四国はひとつ　四国遍路を世界遺産に

2017年3月作成



大きな谷間の窪地に堂宇を建てたのが寺名の由来

第88番 医王山 遍照光院 大窪寺

いおうざん　へんじょうこういん　おおくぼじ

四国霊場巡り終着の結願寺

歴史・全体像

寺伝によれば養老年間（717～724）、行基が草堂を建立したことが始まり。その後に巡錫中の大師が胎蔵ヶ峰の岩窟で求聞持法を修して薬師如来を彫り、堂宇を整えたといわれる。この時に大師は、唐の恵果阿闍梨から授かった、三国（インド、唐、日本）伝来の錫杖を本尊と共に納めた。その後、僧房100を有し、早くから女性の入山を許していたこともあって「女人高野」とも呼ばれ栄えたが、天正の兵火で焼失。初代高松藩主松平頼重が寺領を寄進、二代頼常も本堂や仁王門の修復を行い再興された。しかし、明治時代に火災で堂塔を焼失。二天門以外の現在の建物は、その後再建されたものだ。

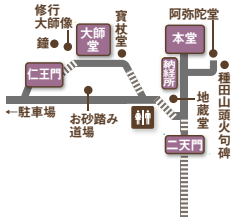
境　内

二天門とも呼ばれる山門を抜けて、石段を上ると正面に本堂と阿弥陀堂が並び建つ。本堂は礼堂と中殿、二重多宝塔となっている奥殿からなり、本尊の薬師如来と三国伝来の錫杖は奥殿に祀られている。納経所は本堂手前左側にあり、地蔵堂がその隣に建っている。本堂手前を左に折れ、階段を上って参道を進むと寶杖堂と大師堂とが並び、仁王門へと続く。

深山に広がる境内は、春の桜や秋の紅葉など四季折々の美しさを見せる。仏の慈悲のように降り注ぐ木洩れ日は、結願を迎えた遍路の心に深く沁み入り、遍路旅の疲れを癒してくれるだろう。

御詠歌／南無薬師諸病なかれと願いつつ詣れる人は大窪の寺
本尊／薬師如来
真言／おん ころころ せんだり まとうぎ そわか
宗派／真言宗単立
開基／行基菩薩

薬師如来のほら貝は厄難諸病を吹き払う



歩き遍路のための「四国遍路」巡礼マップ

第88番 大窪寺 ▼ 第1番 霊山寺

JAPAN HERITAGE
日本遺産

「四国遍路」巡礼マップ

第88番　大窪寺 ▶ 第1番　霊山寺

第10番 切幡寺経由（18.2km）

39.6km　※赤い点線は遍路道の一例です

《凡　例》

- 弘法大師ゆかりの寺院
- ゆかりの神社
- ゆかりの場所
- 宿泊施設
- 遍路小屋
- 休息所
- 公衆トイレ
- 医療機関
- 道の駅
- ファミリーレストラン
- 店舗・スーパー
- 温泉
- コンビニエンスストア
- コインランドリー
- 学校

88 おおくぼじ 大窪寺（標高 445m）

憩 宿 八十窪

地蔵堂・白鳥農場

〈香川県〉〈徳島県〉

へんろみち周辺の宿泊施設

1	八十窪	0879-56-2031

縮尺＝1:30,000　0　500　2000m

〈信号 警察署 交番 消防署 郵便局 神社 寺院〉

「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地図情報)及び数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地名情報)を使用した。（承認番号　平28情使、第1132号）」

A地点

大北通学橋

稲荷神社

徳島自動車道

至、脇町ＩＣ

至、土成ＩＣ

10 きりはたじ 切幡寺

1 霊山寺へ直行 21.4km

阿波市役所

大俣小学校

市場中学校

岩野トンネル

五名トンネル